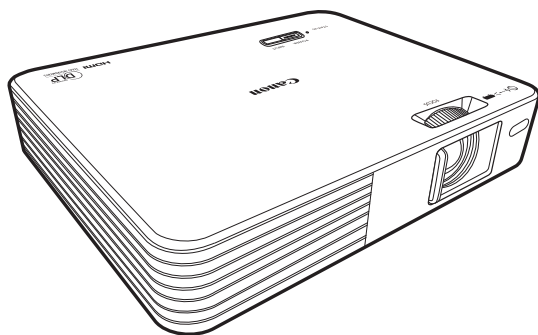


Canon

POWER LE-5W PROJECTOR

使用説明書



HDMI

PICTURE BY
DLP
TEXAS INSTRUMENTS

ご使用の前に、必ずこの使用説明書をお読みください。
特に「安全にお使いいただくために」の項は必ずお読みになり、正しくご使用ください。
またお読みになった後、この使用説明書をいつでも見られる場所に保管してください。

本製品は日本国内用に設計されております。
電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。

キヤノン製品のお買い上げ、誠にありがとうございます。

パワープロジェクター LE-5W (以降は「本機」または「プロジェクター」) は、高性能な LED 光学エンジンと豊富な機能による使いやすさを特長としています。

おもな特長

本機には次のような特長があります。

- ・ 長寿命な LED 光源
LED は従来のランプよりも長くご使用いただけます。
- ・ DLP テクノロジーを採用した光学エンジン
WXGA 相当の解像度で明るい映像を表示できます。
- ・ 持ち運びが簡単
本機は小型軽量で、出張やレジャーなどにも楽にお持ちいただけます。
ドキュメント、ビデオ、写真を場所を選ばずに見ることができます。
- ・ 多様な映像入力
接続機器を自由に選べるように、PC、ビデオ、HDMI、USB、SD カード等に対応する入力端子 (P15) を装備しています。
- ・ ステレオスピーカー搭載
2.5W のステレオスピーカーにより臨場感のある音声を楽しむことができます。また音声出力端子を搭載しています。
- ・ 使いやすいオンスクリーンメニューが用意されています。
- ・ 豊富な機能
ドキュメントビューワ (P48)、内部メモリ (P45)、SD カード (P45)、USB メモリ (P45)、USB ディスプレイ (P51) に対応します。

説明の内容を表す記号

本文中マークがついた欄は、次のような内容になっています

- ◆ 操作上の注意事項や制限事項が記載されています。

目次

おもな特長	2
安全にお使いいただくために ..	5
はじめに	13
同梱品	14
本体の各部名称	15
操作パネルとインジケータ	16
リモコン	17
第三者のソフトウェア について	19
投写する	21
基本操作	22
電源コードを接続する	22
電源を入れる	23
ピントを合わせる	23
言語の設定	24
入力信号の切り替え	24
音量調整	25
映像を一時的に消す	26
電源を切る	26
キャリーバッグへの収納の しかた	27
設置	28
映像の大きさの調整	28
映像の高さ調整	29
コンピューターとの接続	30
PC 入力端子を用いた接続	30
映像の自動調整	31
HDMI 入力端子を用いた 接続	32
USB mini-B 端子を用いた 接続	32
ビデオ機器との接続	34
HDMI 機器との接続	35
コンポーネントビデオ機器の 接続	36
ビデオ機器の接続	37
外部スピーカーの接続	38
外部メモリの接続	39
SD カードの接続	39
USB メモリの接続	40

メニューによる 機能設定	41
メニューについて	42
ホーム画面	43
内部メモリ、USB ドライブ、 SD カードのファイルを表示 する	45
写真の表示	47
音楽の再生	47
ビデオの再生	48
書類の表示	48
USB ストリーミングの操作 ..	51
USB ディスプレイ	51
USB ファイル転送	53
セットアップを行う	55
セットアップ メニューの 操作方法	55
セットアップメニューの構成 ..	55
基本メニュー	56
詳細メニュー	59
ビデオ設定メニュー	62
写真設定メニュー	64
音楽設定メニュー	66
情報メニュー	67
言語メニュー	70
キーロック	71
オンスクリーン メニューの 操作	72
イメージ調整	73
アスペクト	76
スクリーン色補正	76
位相	77
水平サイズ	77
3D 逆転	78
キーストーン	78
LED モード	79
HDMI 入力レベル	79
セットアップ	80
情報	80
3D コンテンツを見る	81

付録..... 83

LED インジケータの表示	84
故障かなと思ったら	85
電源が入らない	85
映像が投写されない.....	86
音声が出ない	87
映像が鮮明でない	87
映像が正しく表示されない	88
電源が切れてしまう.....	88
リモコンの操作ができない	89
お手入れについて.....	90
レンズのお手入れ	90
プロジェクターのお手入れ	90
対応信号	91
製品の仕様	94
保証と著作権について.....	96
保証とアフターサービス.....	96
著作権についてのご注意.....	97
商標について	97
オンスクリーンメニューの 構成	98
セットアップメニューの 構成	99

安全にお使いいただくために

安全上の注意を表す記号

この使用説明書で使用しているマークについて説明します。本書では製品を安全にお使いいただくため、大切な記載事項には次のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

 警告	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、死亡または傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 感電注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、感電の可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 分解禁止  接触禁止  水ぬれ禁止  ぬれ手禁止	これらの記号は、行ってはいけない行為（禁止事項）を示しています。 図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
 禁止	この記号は、その他の行ってはいけない行為（禁止事項）を示しています。
 アース線を接続する  電源プラグをコンセントから抜く	これらの記号は、行わなければならない行為を示しています。 図の中に具体的な指示内容が描かれています。
 注意	この記号は、必ず守っていただきたい行為や内容を示します。

電波障害自主規制について

この装置はクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。VCCI-B

使用上のご注意

安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

警告

以下のような場合はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店へご連絡ください。放置すると火災や感電の原因になります。



電源プラグをコンセントから抜け



感電注意

- ・ 煙が出ている。
- ・ 変なおいや音がする。
- ・ 水など液体が本機に入った。
- ・ 金属類や異物が本機に入った。
- ・ 本機を倒したり、落としたりしてキャビネットを破損した。

警告

電源コードの取り扱いについて以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。



禁止



感電注意

- ・ 電源コードの上に重い物を載せたり、本機の下敷きにならないようにしてください。コードが破損します。
- ・ 電源コードを敷物などで覆わないでください。
- ・ 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
- ・ 電源コードを熱器具に近づけたり加熱したりしないでください。
- ・ 電源コードを細かく曲げたり、巻いたり、束ねたりしたまま使用しないでください。
- ・ 破損した電源コードを使用しないでください。電源コードが破損した場合は新たに電源コードを販売店から購入してください。
- ・ 付属している電源コード以外は使わないでください。
- ・ 電源コードのアース線を必ずアースに接続してください。アース線を接続しないと感電の原因となります。
- ・ アース線の接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。またアース線を外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。



アース線を接続する



感電注意

警告

電源および電源プラグ、コネクターの取り扱いについて以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。



禁止



感電注意

- ・表示された電源電圧 (AC100) 以外の電圧で使用しないでください。
- ・電源プラグやコネクタを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグやコネクタを持って抜いてください。コードが傷つきます。
- ・電源プラグやコネクタの接点部に金属類を差し込まないでください。



電源プラグをコンセントから抜け



感電注意

- ・お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。



ぬれ手禁止



感電注意

- ・ぬれた手で電源プラグやコネクタを抜き差ししないでください。



注意



感電注意

- ・電源プラグやコネクタは根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだ電源プラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
- ・コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。



注意

- ・電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。

警告

誤飲に関して以下の点にご注意ください。



禁止

- ・リモコンの電池や電池ホルダー、また調整脚が取れた場合の調整脚などの小さな部品は小さなお子様が誤って飲み込むと窒息の原因になります。保護者の方は、小さなお子様の手の届かないところに置くように注意してください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

設置のときのご注意

警告

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。火災や感電またはケガの原因になります。



水ぬれ禁止



感電注意

- ・風呂、シャワー室では使用しないでください。
- ・雨天、降雪中、海岸、水辺で使用しないでください。
- ・本機の上に液体の入った容器を置かないでください。
- ・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。



接触禁止



感電注意

- ・雷が鳴り出したら、本機、電源コード、ケーブルに触れないでください。



電源プラグをコンセントから抜け



感電注意

- ・本機を移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間のケーブル類を外してから行ってください。



禁止



分解禁止

- ・キャビネットを外したり本機を分解しないでください。内部には電圧の高い部分および温度の高い部分があり、感電ややけどの原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- ・本機（消耗品を含む）・リモコンを分解や改造をしないでください。



禁止

- ・吸気口や排気口等の穴から物などを差し込まないでください。
- ・排気口の前にはスプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
- ・使用中は強い光が出ていますので、レンズをのぞかないでください。目を傷める恐れがあります。特に小さなお子様にはご注意ください。
- ・投写中に本機の前で発表する場合は、スクリーンに発表者の影が映らない位置など、まぶしさを感じない位置で行ってください。

⚠ 注意

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。



電源プラグをコンセントから抜く



接触禁止



禁止



禁止



注意

- ・ 長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- ・ 動作中は排気口周辺や排気口上部のキャビネットが高温になります。やけどの原因となることがありますので手で触れたりしないでください。特に小さいお子様にはご注意ください。また、金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となることがあります。
- ・ 本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。特に小さいお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
- ・ ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- ・ 動作中、レンズの前に物をおかないでください。火災の原因となることがあります。
- ・ 本機のレンズ・フィルターなどに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機内部は高温になっているため、引火による火災の原因となることがあります。
- ・ 長年のご使用で内部にホコリがたまると火災や故障の原因となることがあります。定期的なメンテナンスをお勧めします。費用などは販売店にご相談ください。

リモコンの電池に関するご注意



電池の取り扱いについて以下の点に注意してください。火災やけがの原因となります。



禁止

- 電池を火の中に入れてたり、加熱、ショート、分解したりしないでください。
- 電池は充電しないでください。



注意

- 電池を使いきったときや、長時間使用しないときは電池を取り外してください。
- +と-の向きを正しく入れてください。
- 万一、液漏れなどで内部の液体が体についたときは、水でよく洗い流してください。

3D 視聴についての安全上のご注意



注意

3D 視聴については、以下の点にご注意ください。



禁止

- ・ 光過敏の既往症のある人、心臓に疾患がある人、妊娠中の女性、高齢者、重い病気にかかっている方、てんかんの発作が起きやすい方は、3D 映像の視聴を控えてください。病状悪化の原因となることがあります。
- ・ 体調不良や、疲れた状態での3D 視聴を控えてください。他に、睡眠不足、酒気を帯びているときも、3D 映像の視聴を控えてください。
- ・ 以下のような症状が出た場合は、すぐに3D 視聴を中止し、症状が軽減されるまで休憩してください。
 - ・ 3D 映像を見ている時に、映像が二重に見えたときや、立体感を感じにくいとき。
 - ・ 3D 映像を見ている時に、疲労感や不快感などの体調変化を感じたとき、使用を中止してください。
- ・ 長時間の使用は、目の疲れの原因になることがありますので、適度に休憩をとってください。長時間の使用や映像を斜めから見ると、眼精疲労などを引き起こす要因となります。
- ・ お子様の3D 視聴には保護者様が付き添ってください。お子様は、3D 視聴による不快感が生じても、適切に伝えられないことがあるので、保護者様が付き添ってご使用ください。3D 映像の視聴年齢については、およそ6歳以上を目安にしてください。
- ・ 3D 映像を見る際は、画面正面の適正な距離ご覧ください。画面正面のなるべく適正な距離（画面縦寸法の約3倍以上が目安）から、表示面の水平と両目の水平が近い状態でご覧ください。



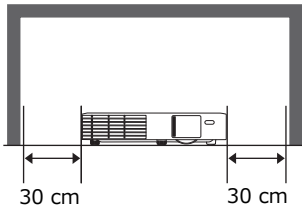
注意

正しくお使いいただくために

持ち運び、輸送するときには、次の点にご注意ください。

- 本機は精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となります。
- 本機は必ず壁から 30 cm 以上離して設置してください。これ以上近づけると、故障の原因となります。
- 動作中は排気口周辺や排気口上部のキャビネットが高温になります。以下の表をご参照の上、壁などから十分な距離をあけて設置してください。押し入れ、本棚など、風通しの悪い狭い場所に押し込まないで、風通しの良い場所に設置してください。

サイド



- 湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になります。
- レンズを素手で触らないでください。画質を損なう原因になります。
- 低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだ時や、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて、通常の画像が映るまでお待ちください。
- 高温または低温の場所に設置しないでください。故障の原因となります。

動作温度範囲：0°C から 40°C 湿度：10% から 90%

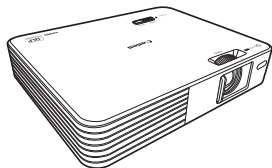
保管温度：-30°C から 60°C

- 高圧電線や電源の近くに設置しないでください。
- 敷き物やスポンジ製のマットの上など柔らかい床の上に設置しないでください。内部に熱がこもり、故障の原因になります。
- 冷却ファンの吸気口または排気口を塞がないでください。内部に熱がこもり、故障の原因になります。
- 本機の上に物を載せないでください。熱による変形や変色の原因になります。
- 海拔 1500m 以上の場所で使用する場合は、高地対応モードの設定 (P59) を行なってください。
- 本機の天板の表面をこすったり磨いたりしないでください。表面が傷つく場合があります。

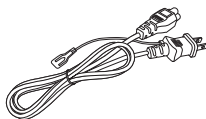
はじめに

同梱品

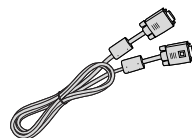
丁寧に開梱し、次に示すものがすべて揃っていることを確認してください。
不足しているものがある場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。



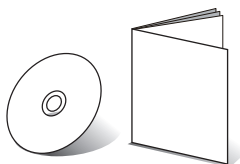
プロジェクター (本機)



電源コード (1.8 m)



コンピューターケーブル
(1.8 m)
(5K.1VC09.501)



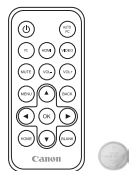
使用説明書
(本書、CD-ROM)



保証書



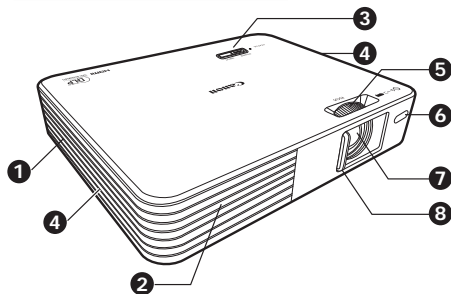
キャリーバッグ



リモコン
(品番 : LE-RC01)
電池 (CR2025)

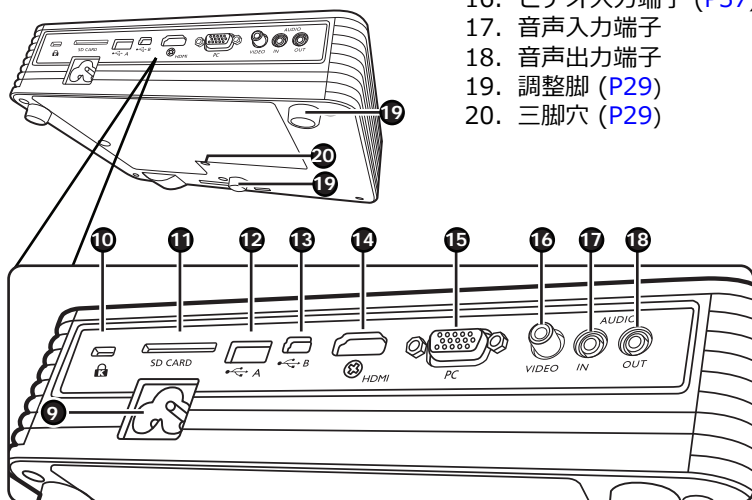
本体の各部名称

正面 / 上面



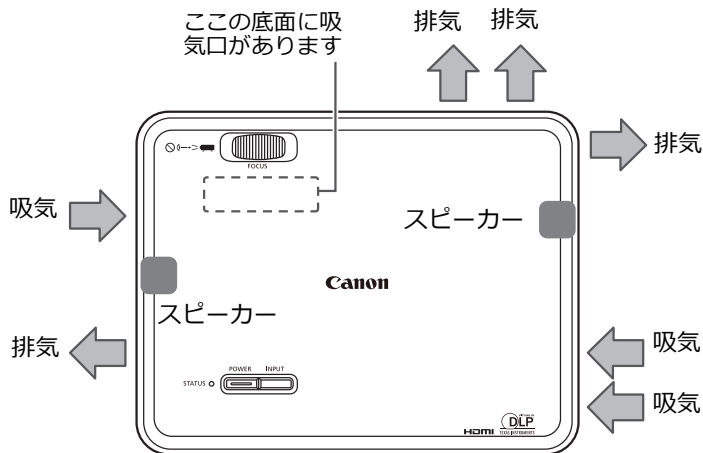
1. 吸気口 (P16)
2. 排気口 (P16)
3. 操作パネルとインジケータ (P16)
4. 内部スピーカー
5. フォーカスリング (P23)
6. リモコン受光部 (P18)
7. 投写レンズ
8. レンズカバー (P23、P27)
9. 電源コード接続部 (P22)
10. 盗難防止用ロック穴
11. SD カード スロット (P39)
12. USB A 端子 (P40)
13. USB Mini-B 端子 (P32)
14. HDMI 入力端子 (P32)
15. PC 入力端子 (P30、P36)
16. ビデオ入力端子 (P37)
17. 音声入力端子
18. 音声出力端子
19. 調整脚 (P29)
20. 三脚穴 (P29)

背面 / 底面

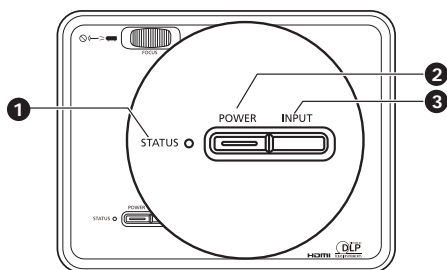




- 吸気口と排気口を塞がないでください。本機の内部が過熱して、故障の原因になります。
- 本機の天板の表面をこすったり磨いたりしないでください。表面が傷つく場合があります。



操作パネルとインジケータ



1. **STATUS (状態インジケータ LED)**
LED の表示で本体の状態を知らせます。(P84)

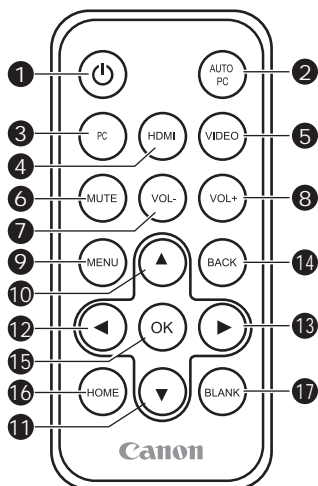
2. **POWER ボタン / 電源インジケータ LED**

プロジェクター動作中に点灯または点滅します。電源を入/切します。

3. **INPUT ボタン**

入力信号が順番に切り替わります。(P24)
3 秒間長押しすると、キーロックの有効/無効を切り替えることができます。(P71)

リモコン



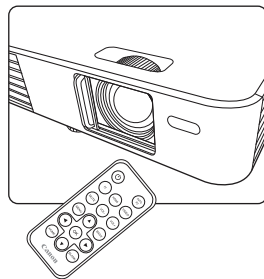
1. **POWER ボタン**
電源を入 / 切します。(P23、P26)
2. **AUTO PC ボタン**
アナログ PC 入力時にコンピューターの信号に合わせて本機を適切な状態に調整します。(P31)
3 秒間長押しすると、キーロックの有効 / 無効を切り替えることができます。(P71)
3. **PC ボタン**
入力を PC / コンポーネントに切り換えます。(P24)
4. **HDMI ボタン**
入力を HDMI に切り換えます。(P24)
5. **VIDEO ボタン**
入力をビデオに切り換えます。(P24)
6. **MUTE ボタン**
音声を一時的に消します。(P25)
7. **VOL- ボタン**
音量を下げます。(P25)
8. **VOL+ ボタン**
音量を上げます。(P25)
9. **MENU ボタン**
オンスクリーン メニューを表示します。(P72)
- 10 ~ 13 **【▲】【▼】【◀】【▶】**
方向ボタン (上下左右)
メニューやドキュメントビューワなどの操作に使用します。
14. **BACK ボタン**
オンスクリーン メニューの上位レベルに戻ります。
オンスクリーン メニューのポップアップ設定メニューを終了します。
15. **OK ボタン**
メニューで選択した機能を確定します。
ドキュメントビューワなどの操作に使用します。
16. **HOME ボタン**
ホーム画面を表示します。(P43)
17. **BLANK ボタン**
画面を一時的に消します。(P26)

リモコンの有効範囲

赤外線リモコン受光部はプロジェクターの前面にありますのでリモコン受光部に向けて操作してください。

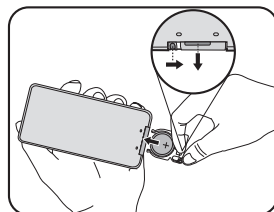
リモコンの操作有効範囲はプロジェクターのリモコン受光部から上下 ± 15 度、左右 ± 30 度、距離は最長約8mです。

- ◆ リモコンと本体の間に障害物があると操作できない場合があります。
- ・ プロジェクターのリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっている時は、リモコンが操作できない場合があります。



電池の入れ方

1. 電池ケースのツマミを右に押したまま引き出します。
2. 古い電池を取り出します。
3. 新しい電池 (CR2025) の (+) を上にして電池ケースに入れます。
4. リモコンに戻し「カチッ」となるまで差し込みます。



電池の取り扱いについて以下の点に注意してください。火災やけがの原因となります。

- ・ 電池を火の中に入れて、加熱、ショート、分解したりしないでください。
- ・ 付属の電池は充電しないでください。
- ・ 電池を使いきったときや、長時間使用しないときは電池を取り外してください。
- ・ +と-の向きを正しく入れてください。
- ・ 万一、液漏れなどで内部の液体が体についたときは、水でよく洗い流してください。
- ・ リモコンの電池や電池ホルダーは、小さなお子様が悪く飲み込むと窒息の原因になります。保護者の方は、小さなお子様の手の届かないところに置くように注意してください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

第三者のソフトウェアについて

この製品には、第三者のソフトウェアモジュールが含まれています。

詳細は、同梱セットアップ CD-ROM の `thirdparty_software` フォルダの「ThirdPartySoftware.pdf」（第三者ソフトウェアライセンス）をご覧ください。

また、各モジュールのライセンス条件につきましては、`thirdparty_software/LICENSE` フォルダに含まれていますので、ご覧ください。

■ GPL および LGPL で許諾されるソフトウェアについて

この製品には、GPL および LGPL で許諾されるソフトウェアモジュールが含まれています。

同梱セットアップ CD-ROM の `thirdparty_software/GPL` (LGPL) フォルダ内にソースコードが含まれていますのでご覧ください。

■ GNU General Public License Version 2 に基づくソフトウェアプログラム

本メディアに含まれるソフトウェアプログラム（「本プログラム」）はフリーソフトウェアです。お客様は、GNU General Public License Version 2 の定める条件の下で再配布および改変することができます。

それぞれのプログラムは有用であることを願って配布されますが、販売見込み又は特定の目的への適合性に関する黙示的保証を含め、一切の保証がありません。下記の「保証の否認」と「第三者のソフトウェアのサポート」をご覧ください。詳しくは、GNU General Public License Version 2 の原文をご覧ください。

保証の否認

本プログラムは無償でライセンスされるものであり、準拠法の下で認められる限りにおいて何らの保証もありません。これと異なる書面による定めがなされる場合を除き、著作権者及びその他の当事者は、本プログラムをそのままの状態で、いかなる保証（明示的か黙示的かに関わらず、また、販売見込み又は特定の目的への適合性に関する黙示的保証を含み、これらに限定されない）もすることなく提供するものとします。本プログラムの品質及び性能に関するリスクは、すべてお客様が負うものとします。本プログラムに瑕疵のあることが明らかになった場合でも、必要な保守点検、修補、又は修正に要する費用は、すべてお客様のご負担となります。

準拠法において義務が課されている場合又は書面による合意がある場合を除き、著作権者又は上記の定めに従い本プログラムを修正又は配布した当事者は、たとえ損害が発生するおそれのあることを事前に知らされていたとしても、お客様の被った損害について何らの責任も負いません。当該損害には、本プログラムを使用したことによるものと本プログラムを使用できなかったことによるもの（データの消失、誤ったデータの生成、損害を被ったのがお客様である場合と第三者である場合、及び本プログラムが他のプログラムと

連携して適切に動作しない場合を含み、これらに限定されない) を問わず、一般的、特殊的、偶発的、必然的な損害のすべてを含みます。

第三者のソフトウェアのサポート

キヤノン株式会社、キヤノンの関係会社、および販売会社は、本プログラムに関するいかなるサポートサービスもいたしません。本プログラムに関する、お客様もしくは他のいかなるお客様からのご質問やお問い合わせにもご回答いたしかねます。

投写する

基本操作

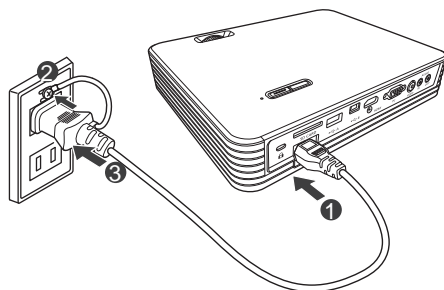
電源コードを接続する

1. 付属の電源コードをプロジェクター側の電源コード接続部に差し込みます。
2. 電源プラグをコンセントに差し込みます。電源を入れると **POWER** ボタン / 電源インジケータ LED が赤で点灯します。



警告

- 電源コードのアース線を必ずアースに接続してください。アース線を接続しないと感電の原因となります。
- アース線の接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。またアース線を外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。



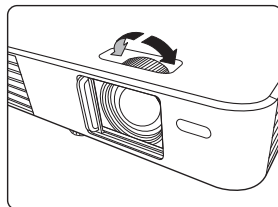
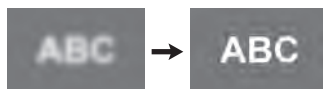
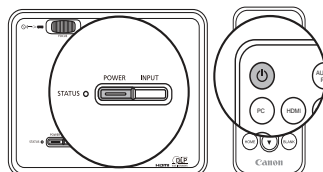
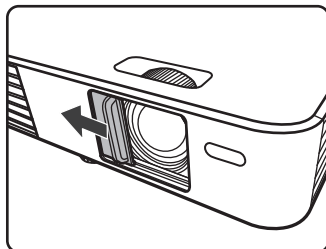
電源を入れる

1. 電源プラグをコンセントに接続します。(P22)
POWER ボタン / 電源インジケータ LED が赤で点灯します。
2. レンズカバーを開きます。
3. その他の接続コードがしっかり接続されているか確認する。(P30)
4. プロジェクターに接続されているすべての機器の電源を入れます。
5. プロジェクターの **POWER** ボタンまたはリモコンの **POWER** ボタンを押して、プロジェクターを起動します。プロジェクターが起動すると、電源インジケータ LED が青の点灯に変わります。起動には数秒かかります。スタートアップロゴが表示されます。
6. 映像がボケている場合は、フォーカスリングを使って映像のピントを調整してください。
7. 初めて起動する時には、言語設定をしてください (P24)。

- ◆ 入力信号の周波数 / 解像度がプロジェクターの対応範囲を外れた場合、「対応範囲外」というメッセージが表示されます。プロジェクターの解像度にしたがった入力信号に変えてください (P91)。

ピントを合わせる

フォーカスリングを回してピントを合わせます。



言語の設定

初めてプロジェクターを起動するときは、オンスクリーンメニューの言語を選択してください。

1. リモコンの **HOME** ボタンを押してホーム画面を開きます。
2. リモコンの【▶】ボタンを押して、Setup を選択し、**OK** ボタンを押します。すると Setup メニューが開きます。
3. リモコンの【▼】ボタンを押して、メニューの Language を選択し、**OK** ボタンを押します。
4. 【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンを押して、言語を選択し、**OK** ボタンを押します。

※選択できる言語は 19 言語あります。詳細は、[49 ページ](#)を参照してください。



入力信号の切り替え

入力信号を切り替えるには、次のいずれかの操作を行います。

- ・ リモコンの入力信号切り替えボタン (PC、HDMI、VIDEO) を押す。

※ PC、HDMI、VIDEO 以外の入力切り替えボタンはありません。コンポーネントビデオ機器の映像を表示するには、PC ボタンを押してください。

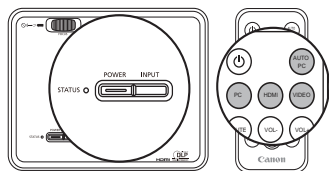
- ・ 本体操作パネルの **INPUT** ボタンを押す。押すたびに入力信号が PC/ コンポーネント、HDMI、VIDEO へ順に切り替わります。

- ・ ホーム画面において、入力アイコンを選択し、**OK** ボタンを押す。

※内部メモリ (P45)、USB ドライブ (P45)、SD カード (P45)、USB ストリーミング (P51) は、この後さらにメニュー操作が必要となります。詳しくは各機能の説明ページを参照してください。

- ❗ このプロジェクターは縦横比 **16:10** です。入力信号によっては縦横比が正しく表示されない場合があります。その場合はアスペクトを変更してください。詳細は、[76 ページ](#)の「**アスペクト**」を参照してください。

- ❗ PC/ コンポーネント、HDMI、VIDEO を選択していた場合、次回起動時は、前回の入力信号が自動的に選択されます。

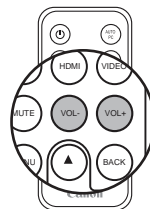


音量調整

プロジェクターに内蔵するスピーカーの音量および音声出力端子から出力する音量を以下の手順で調整することができます。

音量調整

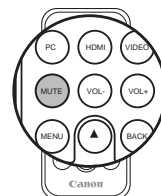
音量を調整するにはリモコンの **VOL-/VOL+** ボタンを押します。



無音にする

一時的に無音にするには、リモコンの **MUTE** ボタンを押してください。

もう一度 **MUTE** ボタンを押すと、音声再び出力されます。



- ◆ 映像信号が表示されていない場合は音声が出力されません。ただし、音声ファイルを再生しているときは、映像が表示されていない場合でも音声が出力されます。このときは、音量調整を行うことができます。


※映像信号が表示されているのに音声が出力されない場合には、プロジェクターの音声入力が正しく接続されていることを確認してください。

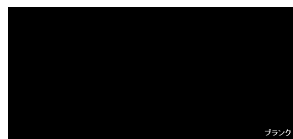
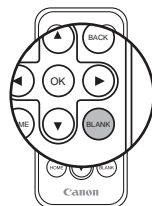
※外部スピーカーが接続されていると内部スピーカーから音声が出力されません。

映像を一時的に消す



リモコンの **BLANK** ボタンを押すと画像を隠します。

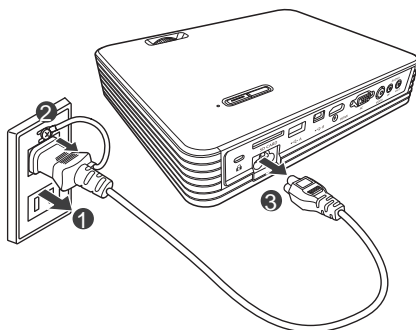
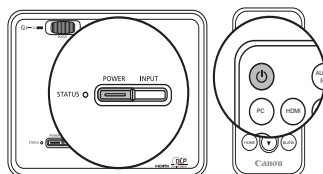
もう一度 **BLANK** ボタンを押すか、リモコンかプロジェクターのいずれかのボタンを押すと画像が再び表示されます。

 **注意** 動作中、レンズの前に物をおかないでください。火災の原因となることがあります。



電源を切る

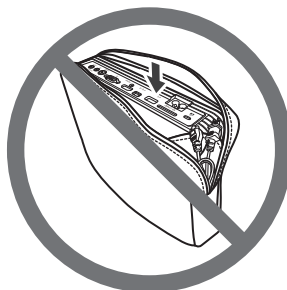
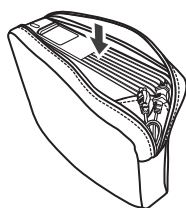
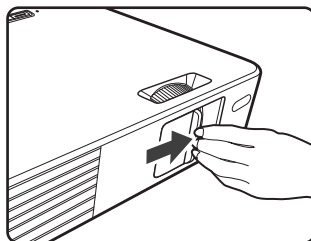
1.  **POWER** ボタンを押すと、確認を促すメッセージが表示されます。数秒以内に応答しなければ、メッセージは自動的に消えます。
2. 再び  **POWER** ボタンを押してください。
3. 光源が消え、ファンが停止します。
4. コンセントから電源プラグを抜いてください。



キャリーバッグへの収納のしかた

電源を切った後にプロジェクターおよび付属品は下の図のように収納してください。

レンズカバーを閉めてください



調整脚を収納してレンズ側を上にしてキャリーバッグに収納してください。

ケーブルおよびリモコンはキャリーバッグ内のポケットまたは本体の底面側に入れてください。

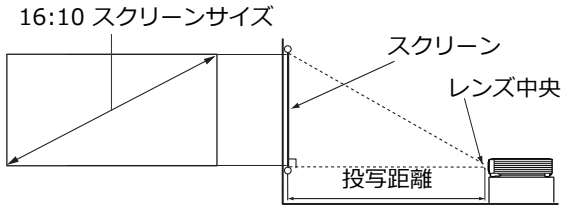
キャリーバッグに収納するときの注意

- ・ レンズカバーを開けたまま収納するとレンズに傷がつくことがあります。
- ・ 調整脚を収納しないでキャリーバッグに入れると調整脚が折れる場合があります。
- ・ 本体の上面側にケーブル類を入れると、本体上面に傷がつくことがあります。
- ・ キャリーバッグで持ち運ぶときは、衝撃を与えたり、落としたり、上にものを置いたりしないでください。プロジェクターが破損することがあります。
- ・ キャリーバッグにはほこりが溜まりやすいので、あらかじめ内部のほこりを取り除いて収納するようにしてください。

設置

本機はズーム機能がないので、映像の大きさは本機からスクリーンまでの距離で調整してください。

本機は必ず机の上などに水平に配置し、スクリーンの中心に対して直角になるように設置してください。



本機の映像は水平面よりやや上向きに画像を投写します。本機がテーブルの上に設置され、正面に向かって投写することを想定しており、スクリーンの下辺がテーブルの高さよりも上になるように、あらかじめスクリーンに対してやや上向きに投写するようになっています。

映像の大きさの調整

映像の大きさは投写距離によって決まります。

映像の大きさと投写距離の関係の参考値を以下に示します。

映像の大きさ			投写距離 (m)
画面サイズ (型)	幅 (mm)	高 (mm)	
20	431	269	0.50
30	646	404	0.75
40	862	538	1.00
50	1077	673	1.25
60	1292	808	1.50
70	1508	942	1.75
80	1723	1077	2.00
90	1939	1212	2.25
100	2154	1346	2.50
120	2585	1615	3.00
150	3231	2019	3.75
200	4308	2692	5.00
240	5169	3231	6.00

映像の高さ調整

プロジェクターには 2 個の高さ調整脚が付いています。前の調整脚は映像の高さを変えたいときに、後の調整脚は映像の傾きの調整に使用してください。



プロジェクターが床に対して水平になっていないとき、またはスクリーンに対してプロジェクターが垂直になっていないときは、投写映像が台形になります。この台形ひずみを補正する方法については、78 ページの「キーストーン」を参照してください。






- 使用中は強い光が出ていますので、レンズをのぞかないでください。目を傷める恐れがあります。特に小さなお子様にはご注意ください。
- 調整脚を調節するときは排気口付近に注意してください。キャビネット等が高温となり、やけどの原因となることがあります。
- 調整脚が取れた場合などにはその調整脚を、小さなお子様が誤って飲み込むと窒息の原因になります。保護者の方は、小さなお子様の手の届かないところに置くように注意してください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

！ カメラ用の三脚に取り付ける場合

- 注意
- 三脚を使用して調整する場合は、本機が倒れないように注意してください。故障の原因になります。
 - 三脚の取り扱い方法や注意事項は三脚の取扱説明書をご覧ください。
 - エレベーター付の三脚は、エレベーターをのぼさず使用してください。転倒の原因となる場合があります。

コンピューターとの接続

コンピューターと接続するには HDMI 入力端子、PC 入力端子、USB mini-B 端子を 사용합니다。

端子名	端子の形状	備考
HDMI 入力端子		高画質のデジタル映像と音声を一本のケーブルで伝送
PC 入力端子		高画質なアナログ信号を伝送
USB mini-B 端子		PC の画面表示 PC から内部メモリへのファイル転送

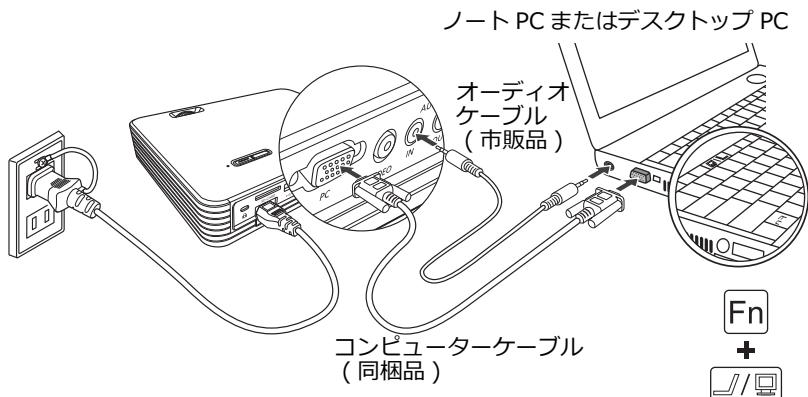
- ◆ プロジェクターの電源をオン (P23) にしても選択した映像が表示されない場合は、コンピューターの電源および操作が正しく動作していることを確認してください。またケーブル類の接続を確認してください。

PC 入力端子を用いた接続

本機の PC 入力端子にコンピューターケーブルを接続することで、アナログ PC 画像を表示することができます。

- ・ コンピューターケーブル (同梱品) を使う (P14) 。
1. コンピューターケーブル (同梱品) の端子をコンピューターのモニター出力端子に差し込みます。
 2. コンピューターケーブルのもう一方の端子をプロジェクターの PC 入力端子に差し込みます。
 3. プロジェクター内のスピーカーを使用するには、オーディオケーブル (市販品) の端子を PC の音声出力端子に差し込み、もう一方の端子をプロジェクターの音声入力端子に差し込みます。

4. 本機の入力信号を PC にします (P24)。



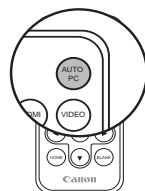
- ◆ ノート PC を使用する場合、コンピュータ側で画面出力の切り換えが必要です。ノート PC の画面出力は、キーボード操作で外部モニターへ切り換えることができます。一般的には、[Fn] キーを押しながら、外部モニターを表すアイコンや文字が表記されているファンクションキー ([F1] ~ [F12]) を押し、外部モニターへ切り換わります。デスクトップ PC ではこの操作は不要です。

機種により使用するファンクションキーや切り換え方法が異なります。ご使用のノート PC の取扱説明書を参照してください。

映像の自動調整

アナログ PC 入力信号が表示されているときに PC の表示画面が投写映像とずれていたり、投写映像がちらつくような時にオート PC を行うと本機が最適な状態に調整されます。

リモコンの **AUTO PC** ボタンを押すことで実行されます。



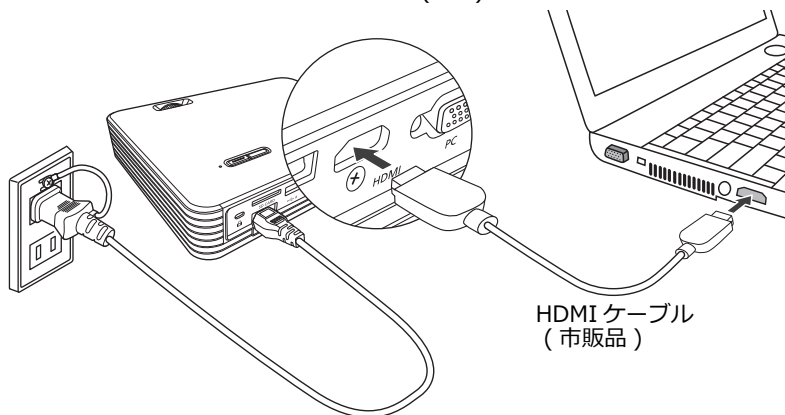
実行中に入力信号の情報が映像の隅に約 3 秒間表示されます。

本機能は PC 入力端子を用いたコンピュータの接続 (P30) の場合のみ使用することができます。

HDMI 入力端子を用いた接続

本機の HDMI 入力端子に HDMI ケーブルを接続することで、アナログ PC 画像よりも高品位な映像を表示することができます。また、PC の音声を本機から出力することができます。

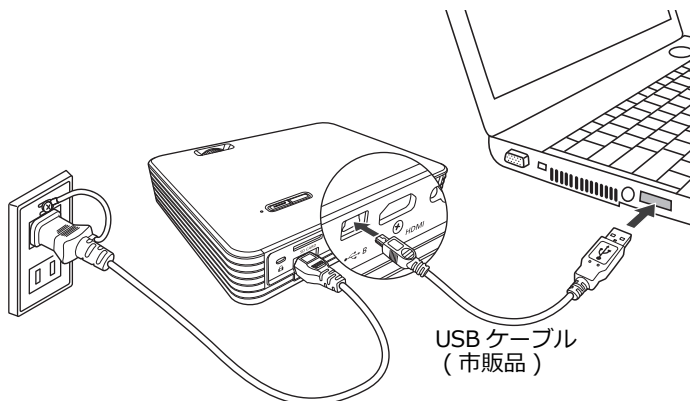
1. HDMI ケーブルをコンピューターの HDMI 出力端子に差し込みます。
2. HDMI ケーブルのもう一方をプロジェクターの HDMI 入力端子 (P15) に差し込みます。
3. 本機の入力信号を HDMI にします (P24)。



USB mini-B 端子を用いた接続

USB ケーブルで本機とコンピューターを接続すると、コンピューターの画面を本機で表示したり (USB ディスプレイ)、コンピューターのファイルを本機の内部メモリに転送する (USB ファイル転送) ことができます。

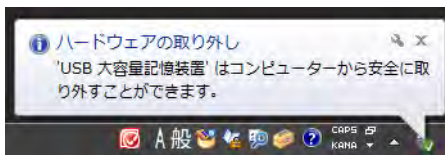
1. USB ケーブル (A 端子) をコンピューターの USB 端子に接続します。
2. USB ケーブルの mini-B タイプ側をプロジェクターの USB mini-B 端子 (P15) に差し込みます。



3. USB ディスプレイについては 51 ページ、USB ファイル転送については 53 ページを参照してください。
PC から USB ケーブルを以下の手順で取り外します。

【Windows7 の場合】(Windows の他のバージョンをお使いの方は、お使いの OS の手順に従ってください)

- Windows タスクバーから、ハードウェアの取り外しアイコンをクリックして、「安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されたら USB ケーブルを外してください。



【Mac の場合】




デスクトップ上で、接続を外すプロジェクトを表すアイコンを選択し、ゴミ箱へドラッグ・アンド・ドロップします。この時ゴミ箱の上にイジェクトのサインが出ることを確認し USB ケーブルを外してください。



- ◆ USB ディスプレイは Mac では使用できません。
- ファイルをコピーまたは移動している最中に USB ケーブルを外すと、データが失われたり、プロジェクトが故障する原因になります。
- 内部メモリのファイルをコンピューターで開いている間は終了できません。
- お使いの PC の正しい手順に従って、USB デバイスをコンピューターから安全に取り外してください。

ビデオ機器との接続

ビデオ機器と接続するにはHDMI入力端子、コンポーネントビデオ入力端子、ビデオ入力端子を 사용합니다。但し接続する端子により画質が変わります。

端子名	端子の形状	備考
HDMI 入力端子		高画質のデジタル映像と音声を一本のケーブルで伝送
コンポーネントビデオ入力端子		高画質なアナログ信号を伝送
ビデオ入力端子		アナログ映像

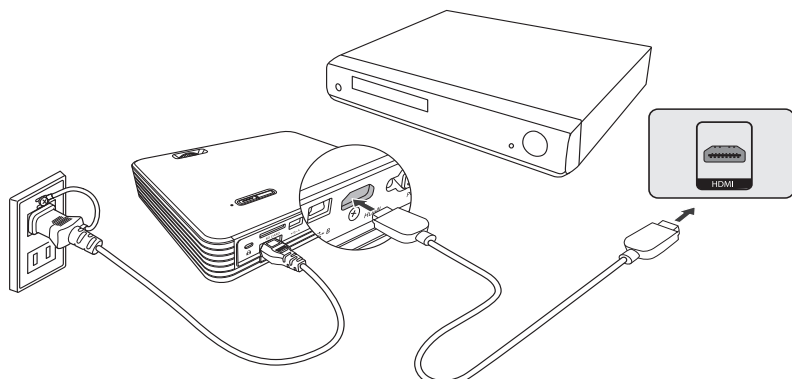
- ◆ プロジェクターの電源をオン (P23) にしても選択したビデオ映像が表示されない場合は、ビデオ機器の電源および操作が正しく動作していることを確認してください。またケーブル類の接続を確認してください。

HDMI 機器との接続

本機の HDMI 入力端子に接続する Blu-Ray プレーヤーなどの HDMI 機器の映像を表示することができます。

HDMI (High-Definition Multimedia Interface) は Blu-Ray プレーヤーなどの対応するデバイスとデバイスの間を 1 本のケーブルで接続し、無圧縮のビデオデータを転送することができます。HDMI を使用すると、高品質な映像と音声をお楽しみいただけます。

1. HDMI ケーブルを HDMI 機器の HDMI 出力端子に差し込みます。
2. HDMI ケーブルのもう一方をプロジェクターの HDMI 入力端子に差し込みます。

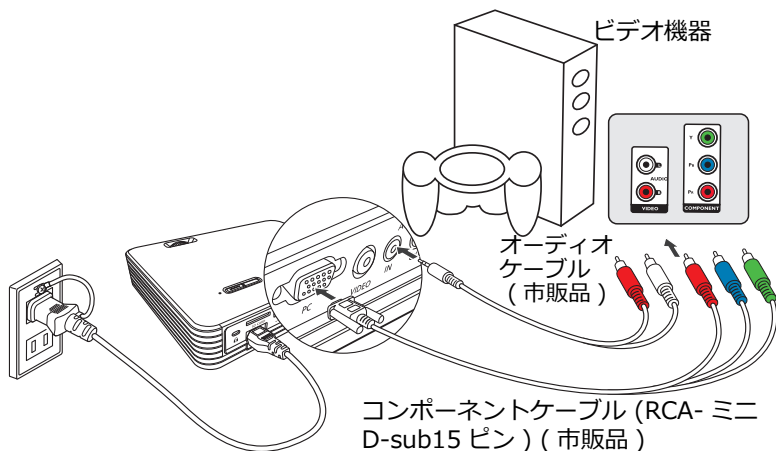


HDMI ケーブル (市販品)

コンポーネントビデオ機器の接続

本機の PC 端子にコンポーネントケーブル (RCA- ミニ D-sub15 ピン) (市販品) を接続すると、コンポーネントビデオの映像を表示することができます。

1. コンポーネントケーブルの 3 個の RCA タイプの端子をビデオ機器のコンポーネントビデオ出力端子にそれぞれに差し込みます。プラグの色とソケットの色を合わせてください (緑と緑、青と青、赤と赤)。
2. ケーブルのミニ D-sub15 ピン端子をプロジェクターの PC 入力端子に差し込みます。
3. プロジェクターのスピーカーを使用するには、オーディオケーブル (市販品) をビデオ機器の音声出力端子に差し込みます。オーディオケーブルのステレオミニプラグをプロジェクターの音声入力端子に差し込みます。

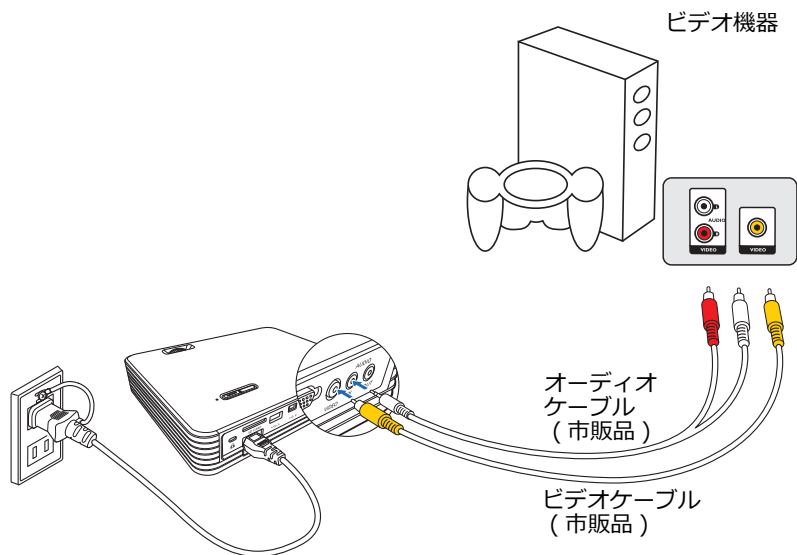


- ⚠ ビデオ機器からの映像信号が入力されていない時にはスピーカーや音声出力端子からは音 (音声信号) が出ません。

ビデオ機器の接続

本機のビデオ入力端子に接続するとビデオ機器などの映像を投写することができます。

1. ビデオケーブル（市販品）の端子をビデオ機器のビデオ出力端子に差し込みます。
2. ビデオケーブルのもう一方の端子をプロジェクターのビデオ入力端子に差し込みます。
3. プロジェクターのスピーカーを使用するには、オーディオケーブル（市販品）をビデオ機器の音声出力端子に差し込みます。次にオーディオケーブルのステレオミニプラグをプロジェクターの音声入力端子に差し込みます。

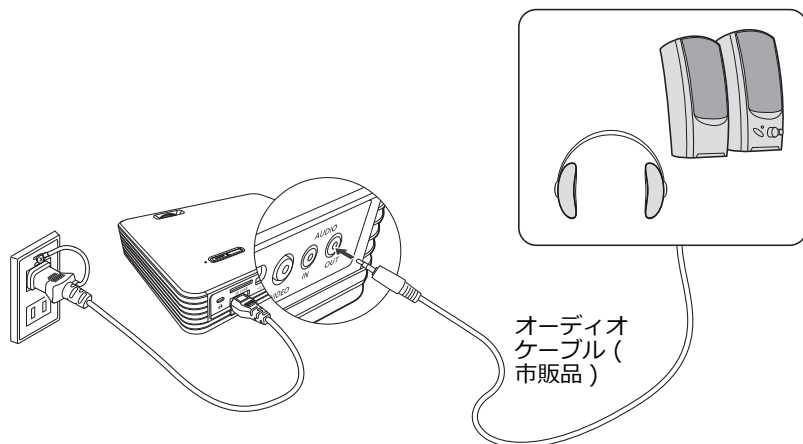


- ◆ ビデオ機器からの映像信号が入力されていない時にはスピーカーや音声出力端子からは音（音声信号）が出ません。

外部スピーカーの接続

プロジェクターの音声出力端子から外部スピーカーやヘッドフォンを使用することができます。

本機の音声出力端子 (Φ3.5 のステレオミニプラグ) とスピーカーまたはヘッドフォンを市販のオーディオケーブルで接続してください。

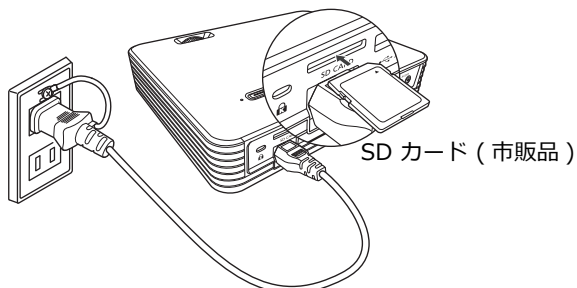


- ◆ オーディオケーブルを音声出力端子に接続すると、本機に内蔵されたスピーカーからは音が出なくなります。
- ・ 映像信号が入力されていない時には、音声が出されません。
- ・ 音声ケーブルは、抵抗が内蔵されていないタイプを使用してください。抵抗内蔵タイプでは、音声が小さくなります。
- ・ 出力端子にヘッドフォンを接続する場合には、接続する前に本機のボリュームを低めに調整してください。音声入力端子に接続している機器側のボリュームも低めに調整してからオーディオケーブルを接続してください。

外部メモリの接続

SD カードの接続

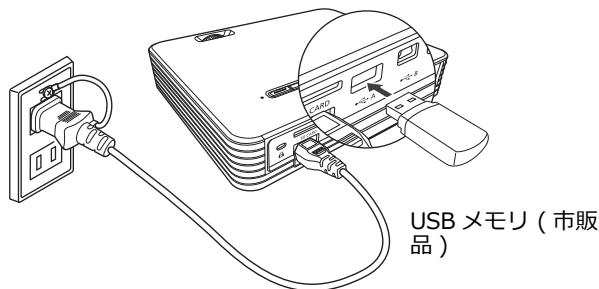
SD カードをプロジェクターの SD カード スロットに挿入します。SD カード内のファイルを表示できます。(P45)



- ◆ 本機は class10 以下の SD/SDHC カードをサポートしています。
- ・ 本機がサポートする SD/SDHC カードの最大容量は 32 GB です。
- ・ SDXC カードはサポートしていません。
- ・ SD/SDHC カードのサポートするフォーマットは FAT16、FAT32、および NTFS です。
- ・ 一部の SD/SDHC カードは本機で認識できない場合があります。
- ・ SD カードに保存されているデータは破損する場合がありますので、必ずバックアップを取ってください。データの管理はお客様ご自身で責任を持って行ってください。データの消失については、弊社は一切責任を負いかねます。
- ・ SD カードのフォルダーの階層が多いとアクセスに時間がかかります。また、表示できるフォルダーの階層は最大 9 階層です。

USB メモリの接続

USB メモリを USB A 端子に挿入します。USB メモリ内のファイルを表示できます。(P45)



- ◆ USB メモリのサポートするフォーマットは FAT16、FAT32、および NTFS です。
- ◆ USB メモリは接続後 10 秒程度認識されない場合があります。
- ◆ 本機からの電流供給は最大 500mA までです。それ以上を必要とするメモリは使用しないでください。
- ◆ 市販されているすべての USB メモリの動作を保証するものではありません。
- ◆ 本機は USB 2.0 の USB メモリをサポートしています。
- ◆ USB メモリ以外の USB デバイスは接続しないでください。
- ◆ カードリーダー / USB ハブは使えません。
- ◆ USB メモリに保管されているデータは破損する場合がありますので、必ずバックアップを取ってください。データの管理はお客様ご自身で責任を持って行ってください。データの消失については、弊社は一切責任を負いかねます。
- ◆ USB メモリ内のデータを用いて投写しているときは、USB メモリを取り出さないでください。
- ◆ 専用のドライバーを必要とする USB メモリは使用できません。
- ◆ 暗号化アプリケーション等を用いて暗号化した USB メモリは使用できません。
- ◆ USB メモリのフォルダーの階層が多いとアクセスに時間がかかります。また、表示できるフォルダーは最大 9 階層です。

メニューによる 機能設定

メニューについて

本機は、入力信号の選択や、各種メモリデバイス内のファイル表示や、プロジェクターのセットアップを行うためのホーム画面を備えています。

また、投写映像が表示されているときに映像の調整や設定ができるオンスクリーンメニューを備えています。(P72)

ホーム画面



オンスクリーンメニュー

メニュー	
イメージ調整	プレゼンテーション
アスペクト	オート
スクリーン色補正	ノーマル
位相	<input type="range"/> 15
水平サイズ	<input type="range"/> 0
3D逆転	オフ
キーストーン	<input type="range"/> 0
LEDモード	ノーマル
HDMI入力レベル	オート
セットアップ	
情報	PC/コンポーネント 1024x768 60Hz

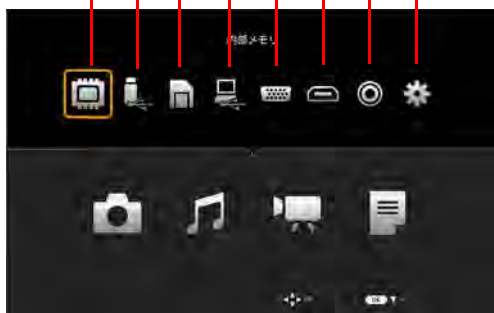
ホーム画面

ホーム画面を開くには、リモコンの HOME ボタンを押します。



ホーム画面は以下のメニュー構成になっています。

1. 内部メモリ (P45)
2. USB ドライブ (P45)
3. SD カード (P45)
4. USB ストリーミング (P51)
5. PC / コンポーネント (P24)
6. HDMI (P24)
7. ビデオ (P24)
8. セットアップ (P55)



【アイコンの説明】

1. 内部メモリ：内部メモリ内のファイルを表示します
2. USB ドライブ：USB A 端子に挿入された USB メモリ内のファイルを表示します。
3. SD カード：SD カード スロットに挿入された SD カード内のファイルを表示します。
4. USB ストリーミング：本機の USB mini-B 端子と PC を USB ケーブルで接続し、PC の画面表示や内部メモリへのファイル転送を行います。
5. PC / コンポーネント：PC 入力端子に接続された PC またはコンポーネントビデオ機器からの映像を表示します。
6. HDMI：HDMI 端子に接続された機器からの映像を表示します

7. ビデオ：ビデオ端子に接続された機器からの映像を表示します
8. セットアップ：プロジェクターのセットアップを行います。

【ホーム画面の基本操作】

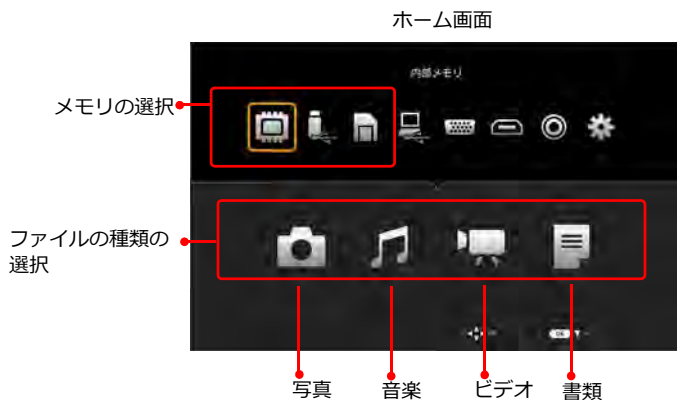
リモコンの【◀】【▶】ボタンで、ホーム画面の上部のアイコンから、実行したい機能のアイコンを選択し、**OK** ボタンを押します。

PC/ コンポーネント、HDMI、ビデオを表示させる場合には、表示させたい入力のアイコンを選択し、**OK** ボタンを押します (アナログ PC 信号 / コンポーネントビデオ信号の検知は自動的に行われます。)

それ以外の機能は、さらにメニュー操作が必要となります。詳細は各機能説明のページを参照してください。

- ・ 内部メモリ、USB ドライブ、SD カード (P45)
- ・ USB ストリーミング (P51)
- ・ セットアップ (P55)

内部メモリ、USB ドライブ、SD カードのファイルを表示する



1. 【◀】【▶】ボタンで、表示したいメモリのアイコンを選択し、**OK** ボタン又は【▼】ボタンを押します。
2. 【◀】【▶】ボタンで、表示したいファイルの種類（写真、音楽、ビデオ、書類）を選択し、**OK** ボタンを押します。

写真：画像ファイルを表示します (P47)

音楽：音声ファイルを再生します (P47)

ビデオ：動画ファイルを再生します (P48)

書類：Microsoft Office ファイル (Word, Excel, PowerPoint) と Adobe PDF ファイルとテキストファイルを表示します。 (P48)

※内部メモリにファイルを保存するには USB ファイル転送を使用します。
(P53)

※ USB メモリ、SD カードが検知できない場合には警告メッセージが表示されます。

3. 選択したファイルの種類を自動的に検知し、ファイルブラウザが開きます。



- ・ 選択したファイルの種類、および、選択した種類のファイルと選択したファイルを含むフォルダーが表示されます。
4. 【▲】【▼】 ボタンで、表示 / 再生したいファイルを選択し、**OK** ボタンを押すと、そのファイルを表示 / 再生します。
フォルダーを選択し、**OK** ボタンを押すと、そのフォルダー内に移動します (そのフォルダー内のファイルがファイルリストに表示されます)。
BACK ボタンを押すと、一階層上のフォルダーに戻ります。
 5. ファイルブラウザ表示中に、【◀】 ボタンを押すとサムネイル表示に切り替わります。



6. サムネイル表示画面において、【▲】【▼】【◀】【▶】 ボタンで、表示 / 再生したいファイルを選択し、**OK** ボタンを押すと、そのファイルを表示 / 再生します。
7. フォルダーを選択し、**OK** ボタンを押すと、そのフォルダー内に移動します。
8. **BACK** ボタンを押すと、一階層上のフォルダーに戻ります。
9. 各メモリの最上位の階層で **BACK** ボタンを押すとサムネイル表示を終了しファイルブラウザ表示に戻ります。

- ◆ 内部メモリ、USB メモリ、SD カードに保管されているデータは破損する場合がありますので、必ずバックアップを取ってください。データの管理はお客様ご自身で責任を持って行ってください。データの消失については、弊社は一切責任を負いかねます。

- ・ ファイル容量が大きい場合、読み込みに時間がかかることがあります。
- ・ 対応していないファイルや壊れているファイルは、正しく表示 / 再生されません。
- ・ 暗号化ファイル (DRM) には対応していません。
- ・ イメージモードをプレゼンテーションモード以外に設定しているときは、ファイルブラウザ表示とファイル表示 / 再生との切り替え時に、一瞬色が変わります。

写真の表示

表示できるファイルの形式は次の通りです。

拡張子 : JPG, JPEG, BMP

プログレッシブ JPEG は幅 ≤ 10240, 高さ ≤ 6400 まで対応します。

※対応している形式の画像ファイルでも一部表示できないことがあります。

【写真表示中の操作】

- ・ **BACK** ボタンを押すと、ファイルブラウザ / サムネイル表示に戻ります。
- ・ 「ホーム画面 > セットアップ > 写真設定 > スライドショーモード」で、" 1 画像クリック " と、" フォルダ内の全画像 " を切り替えられます。

[スライドショーモードが 1 画像クリックの場合]

選択した画像が全画面表示されます。

- ・ 【▶】 ボタンを押すと、次の画像を表示します。
- ・ 【◀】 ボタンを押すと、前の画像を表示します。

[スライドショーモードがフォルダ内の全画像の場合]

選択した画像を全画面表示し、自動で次の画像に切り替わります。

- ・ **OK** ボタンを押すと、一時停止 / 再開ができます。
- ・ 画像を自動で切り替えている間は【◀】【▶】ボタンは無効です。
- ・ **BACK** ボタンを押すと、ファイルリスト / サムネイル表示に戻ります。

音楽の再生

再生できるファイルの形式は次の通りです。

拡張子 : OGG, AAC, WAV

WAV ファイルは PCM および AD-PCM に対応しています。

※対応している形式の音声ファイルでも一部再生できないことがあります。

【音楽再生中の操作】

選択した音楽が再生されます。

- ・【▶】 ボタンを押すと、次の音楽ファイルを再生します。
- ・【▶】 ボタンを2秒間長押しすると、早送りを行います。
早送りをやめるには **OK** ボタンを押します。
- ・【◀】 ボタンを押すと、前の音楽ファイルを再生します。
- ・【◀】 ボタンを2秒間長押しすると、巻き戻しを行います。
巻き戻しをやめるには **OK** ボタンを押します。
- ・ **OK** ボタンを押すと、再生 / 一時停止を切り替えます。
- ・ **BACK** ボタンを押すと、ファイルリスト / サムネイル表示に戻ります。

ビデオの再生

再生できるファイルの形式は次の通りです。

拡張子：AVI、MKV、TS、DAT、VOB、MPG、MPEG、MOV、MP4

※対応している形式の動画ファイルでも一部再生できないことがあります。

ビデオファイルのピークビットレートが 10Mbps 以上になると、再生時に遅れが生じる場合があります。

【ビデオ再生中の操作】

選択したビデオが再生されます。

- ・【▶】 ボタンを押すと、次のビデオファイルを再生します。
- ・【▶】 ボタンを2秒間長押しすると、早送りを行います。
早送りをやめるには **OK** ボタンを押します。
- ・【◀】 ボタンを押すと、前のビデオファイルを再生します。
- ・【◀】 ボタンを2秒間長押しすると、巻き戻しを行います。
巻き戻しをやめるには **OK** ボタンを押します。
- ・ **OK** ボタンを押すと、再生 / 一時停止を切り替えます。
- ・ **BACK** ボタンを押すと、ファイルリスト / サムネイル表示に戻ります。

書類の表示

本機は Microsoft Office, Adobe PDF, テキストファイルを表示するドキュメントビューワ機能を備えています。表示できるファイルの種類および形式は次の通りです。

種類	形式
PDF	1.0~1.4 (pdf)
Microsoft PowerPoint	97/2000/XP/2003/2007/2010 (ppt、pptx)
Microsoft Excel	95/97/2000/XP/2003/2007/2010 (xls、xlsx)
Microsoft Word	95/97/2000/XP/2003/2007/2010 (doc、docx)
テキスト	テキストデータ (txt)

◆【書類の表示に関する制限事項】

本機のドキュメントビューワは、ファイルの内容を簡易表示するための機能です。PC 上での表示と異なって表示される場合があります。本機のドキュメントビューワを用いてプレゼンテーション等を行う場合は、事前に使用するすべてのページの表示内容を本機で確認してください。また、ファイルによっては、表示できない場合があります。

- ・ ドキュメントビューワは、ファイル内の文字列を本機に内蔵された 1 種類のフォントを使用して表示します。PC とは異なるフォントで表示されるため、文字がはみ出したり、改行位置が PC での表示とは違って表示されることがあります。また、一部の文字は正しく表示されない場合があります。
- ・ PC でサポートされる機能の一部がプロジェクターではサポートされていない場合があります。例えば、アニメーション、3D 効果、SmartArt、ハイパーリンク、透過性、グラデーション表示、ワードアート、グラフ表示の一部の機能などに制限があります。
- ・ PC に比べてファイルの表示やページ送りに時間がかかる場合があります。
- ・ 容量の大きいファイルは、ファイル表示中に表示が終了する場合があります。
- ・ 表示できるフォントは、以下の言語です。

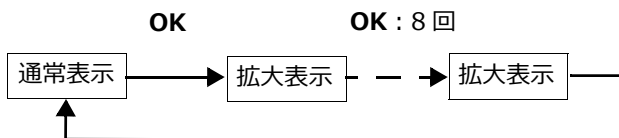
英語	ノルウェー語
ドイツ語	トルコ語
フランス語	ポーランド語
イタリア語	ハンガリー語
スペイン語	チェコ語
ポルトガル語	デンマーク語
スウェーデン語	中国語（簡体）
ロシア語	中国語（繁体）
オランダ語	日本語
フィンランド語	

【書類表示中の操作】

選択した書類が表示されます。

- ・ **OK** ボタンを押すと、表示拡大率を変更します。

※拡大表示から通常表示に戻すには、通常表示状態になるまで **OK** ボタンを押してください。



[通常表示中の操作]

- ・ 【▼】または【▶】ボタンを押すと、次のページを表示します。
- ・ 【▲】または【◀】ボタンを押すと、前のページを表示します。
- ・ **OK** ボタンを押すと、拡大表示します。

[拡大表示中の操作]

- ・ 【◀】【▶】ボタンを押すと、表示位置を左右に移動します。
- ・ 【▲】【▼】ボタンを押すと、表示位置を上下に移動します。ページの最上部を表示している状態で【▲】ボタンを押すと、前のページへ移動します。ページの最下部を表示している状態で【▼】ボタンを押すと、次のページへ移動します。
- ・ **OK** ボタンを押すと、拡大表示します。ただし、拡大率が最大の場合に **OK** ボタンを押すと、通常表示に戻ります。

USB ストリーミングの操作

USB ストリーミングを使用すると、USB ケーブルを使って、PC 画面を本機で表示したり (USB ディスプレイ)、PC から本機の内部メモリへファイルを転送する (USB ファイル転送) ことができます。

USB ディスプレイ

USB ディスプレイは Windows のみの機能です。

システム要件をご確認ください (P52)。

USB ケーブルを使って、PC 画面を本機で表示することができます。

1. USB ケーブルを使って本機の USB mini-B 端子とコンピューターを接続します (P32)。
2. ホーム画面から、「USB ストリーミング > USB ディスプレイ」を選択し、**OK** ボタンを押します。待ち受け画面が表示され、しばらくすると、PC に本機が認識されます。
3. お使いの PC で初めて USB ディスプレイをご使用になる場合は、専用の PC アプリケーション (EZ USB) をインストールする必要があります。



※既にインストール済みの PC を使用する場合はこの操作は必要ありませんので、手順 **EZ USB を実行する**へ進んでください。

4. EZ USB のインストール

自動再生が有効の場合は、「EZ_USB_Detect.exe の実行」というメニューが PC 上に表示されますので、クリックします。

自動再生が無効になっている場合は、コンピューター > CD ドライブ (EZ USB) を開き、EZ_USB_Detect.exe を実行してください。

インストーラの指示に従って、インストールを行ってください。

インストール完了後、コンピューターを再起動します。

5. EZ USB を実行する

デスクトップにある EZ USB のアイコンをダブルクリックすると、EZ USB が起動して PC 画面が本機から投写されます。(この時、コンピューターのモニターの解像度が変化することがあります。)

同時に、EZ USB の操作画面が表示されます。操作画面では、PC 画面と同じ画面を本機に表示とする「Mirror」と、PC 画面の表示領域を拡張して本機に表示する「Extension」を切り替えられます。操作画面で対応するボタンを選択してクリックしてください。初期は「Mirror」となっています。

USB ディスプレイを終了するには、EZ USB アプリケーションの「Exit」ボタンをクリックするか、リモコンの **BACK** ボタンを押してください。

システム要件

Windows	CPU	Intel/AMD Dual Core 2 GHz またはそれ以上
	グラフィック カード	64MB VRAM 以上の Intel、nVIDIA、AMD グラフィック カード
	OS	Windows XP (Professional) SP3 32/64bit、Windows Vista (Home premium 以上) SP2 32/64bit、Windows 7 (Home premium 以上) SP1 32/64bit
	メモリ	1 GB 以上

USB ファイル転送

コンピューターからプロジェクターの内部メモリにファイルを転送することができます。転送したファイルは、ファイルブラウザにより本機で表示することができます (P45)。

1. USB ケーブルを使ってプロジェクターとコンピューターを接続します。
2. **HOME** ボタンを押し、HOME 画面を表示する。プロジェクターのホーム画面から、「USB ストリーミング > USB ファイル転送」を選択し、**OK** ボタンを押します。USB ファイル転送画面が表示され、しばらくすると、PC に本機が認識されます。



3. ファイル転送の実行
[Windows の場合]
スタートメニューからコンピューター (Windows XP の場合はマイ コンピュータ) を開きます。
本機のドライブアイコンを開き、ファイルをコピー・アンド・ペーストするか、ドラッグ・アンド・ドロップします。

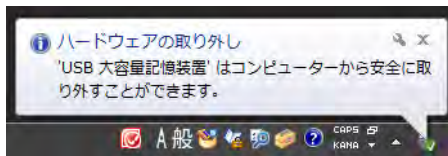
[Mac の場合]

デスクトップ上に表示された本機のドライブアイコンを開き、ファイルをコピー・アンド・ペーストするか、ドラッグ・アンド・ドロップします。

4. 接続の解除
ファイル転送完了後は以下の手順で、本機とコンピューターの接続を解除してください。

[Windows の場合]

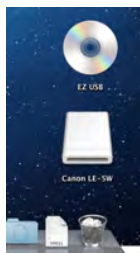
Windows タスクバーから、ハードウェアの取り外しアイコンをクリックして、「安全に取り外すことができます」というメッセージが表示されるのを確認します。



リモコンの **BACK** または **HOME** ボタンを押して、USB ファイル転送画面から抜けます。

[Mac の場合]

マウントされた本機のアイコンを、ゴミ箱アイコン上にドラッグ・アンド・ドロップします。



リモコンの **BACK** または **HOME** ボタンを押して、USB ファイル転送画面から抜けます。

- ◆ 接続が解除されたことを確認してください。ファイルをコピーまたは移動している最中に USB ケーブルを外すと、データが失われたり、プロジェクターが故障する原因になります。プロジェクターのファイルをコンピューターで開いている間は終了できません。プロジェクターのファイルをすべて閉じてから、終了してください。

セットアップを行う

セットアップメニューを使うと、本機の動作に関するさまざまな機能を設定することができます。

セットアップメニューの操作方法

1. ホーム画面のセットアップアイコンを選択し **OK** ボタンを押します。
2. セットアップメニューが開きます。



セットアップメニューで調整できる項目の一覧は、[P99](#) を参照してください。

3. **【▲】【▼】** ボタンで調整したい項目を選びます。
サブメニューが存在する場合は、**OK** ボタンを押すとサブメニューが開きます。
調整したい項目が選ばれている状態で、**【◀】【▶】** ボタンを押すと、その項目を調整することができます。
4. **BACK** ボタンを押すと、一階層上のメニューに戻ります。
5. セットアップメニューを終了するには、リモコンの **BACK** ボタンを繰り返し押し、**HOME** ボタンを押してください。

セットアップメニューの構成

セットアップメニューは以下の7項目から構成されます。

- ・ 基本メニュー
- ・ 詳細メニュー
- ・ ビデオ設定メニュー
- ・ 写真設定メニュー
- ・ 音楽設定メニュー
- ・ 情報メニュー
- ・ 言語メニュー

基本メニュー

スタンバイ時のキー操作をロックする

[ホーム画面] > [セットアップ] > [基本] > [キーロック]

スタンバイ時に不用意に電源が入られることのないように、スタンバイ時の操作パネルおよびリモコンのボタン操作を無効にすることができます。

オフ	通常に起動できます。
オン	キーロックを解除しないと電源 ON できません。 詳細は脚注を参照してください



- キーロックがオンのとき、本機の電源を入れるには、STATUS LED が短時間点灯するまで、操作パネルの **INPUT** ボタンまたはリモコンの **AUTO PC** ボタンを押し続けてください。その後、操作パネルまたはリモコンの **POWER** ボタンを押すと電源が入ります。
- キー操作が無効になっているときに、操作パネルの **INPUT** ボタン、リモコンの **AUTO PC** 以外のボタンを押すと、STATUS LED が点灯します (P84)。

台形ひずみを自動で調整する

[ホーム画面] > [セットアップ] > [基本] > [オートキーストーン]

本機の傾きを自動で検知し、垂直面に対して適切な映像が表示されるように自動で台形ひずみを調整します。

オフ	自動台形ひずみ調整を行いません。
オン	自動台形ひずみ調整を行います。



- 補正量は最大で約 $\pm 40^\circ$ です。(3D タイミングの入力信号を表示している時には約 $\pm 4^\circ$ となります。)
- 補正時に信号がデジタル処理されるため、元の映像と見え方が異なることがあります。また、画面の縦横比が変わることがあります。
- オンスクリーンメニューでキーストーン調整を行うと、次回起動時までオートキーストーン機能は働かなくなります。ただし、[オートキーストーン]を一度[オフ]にしてから再度[オン]にすると、オートキーストーン機能が有効になります。

基本メニュー

POWER ボタン操作を省略する

[ホーム画面] > [セットアップ] >
[基本] > [ダイレクトパワーオン]

POWER ボタンを押さずに、電源コードの接続だけで電源が入るようにします。

オフ	電源を入れるために POWER ボタンの操作 が必要です。
オン	電源コードの接続だけ で電源が入ります。



- ・ [キーロック] をオンにすると、[ダイレクトパワーオン] は自動的に [オフ] に設定されます。

無信号・無操作時に自動的に電源を切る

[ホーム画面] > [セットアップ] >
[基本] > [オートパワーオフ]

無信号・無操作の状態が所定時間続いたときに、節電のため自動的に電源を切ります。

無効	自動電源オフを行いません。
5 分	選択した時間、無信号・無操作の状態が続いたときに、自動的に電源を切ります。
10 分	
15 分	
20 分	
25 分	
30 分	



- ・ 自動的に電源が切れる約 30 秒前に、間もなく電源が切れる旨のメッセージが表示されます。メッセージ表示中に、**POWER** ボタンを 1 回押すと電源が切れます。それ以外のボタンを押すと、メッセージ表示が消えます。

基本メニュー

無信号時の画面色を選択する

[ホーム画面] > [セットアップ] >
[基本] > [背景色]

PC/ コンポーネント、HDMI、ビデオ入力を
選択中に、入力信号が検知できない場
合に表示する画面の色を選択します。

黒	無信号時の画面を黒に します。
青	無信号時の画面を青に します。

ブランク時の画面色を選択する

[ホーム画面] > [セットアップ] >
[基本] > [ブランクカラー]

リモコンの **BLANK** ボタンを押して映像
を一時的に消したときの画面の色を選択し
ます。

黒	ブランク時の画面を黒に します。
青	ブランク時の画面を青に します。

基本メニュー

電源を入れた時の画面を選択する

[ホーム画面] > [セットアップ] >
[基本] > [スプラッシュ スクリーン]

電源を入れてから投写準備ができるまでに表示する画面を選択します。

ロゴ	キヤノンロゴを表示します。
黒	黒画面を表示します。
青	青画面を表示します。

詳細メニュー

高地で使用するための設定をする

[ホーム画面] > [セットアップ] >
[詳細] > [高地対応モード]

海拔 1500 m ~ 3000 m、温度 0 °C ~ 30 °C の環境で本製品を使用する場合は、システムの性能を維持するために、本機能を [オン] に設定してください。

オフ	海拔 0 m ~ 1499 m、温度 0 °C ~ 40 °C の環境で使用する場合。
オン	海拔 1500 m ~ 3000 m、温度 0 °C ~ 30 °C の環境で使用する場合。



- ・ 海拔 0 m ~ 1499 m、温度 0 °C ~ 40 °C の環境では [高地対応モード] は [オフ] に設定してください。
- ・ 高地対応モードを [オン] にすると、冷却ファンが回転速度を速めるために動作ノイズが大きくなり、また、消費電力も増加します。

詳細メニュー

投写映像を反転表示する

[ホーム画面] > [セットアップ] >
[詳細] >
[プロジェクターの投写位置]

天井から吊り下げて投写するときや、スクリーンの反対側から投写するとき、投写映像を反転させて適切に見えるようにします。

前面投写	通常の投写です。
リア投写	スクリーンの裏から投写するときを選びます。 左右が反転します。
リア・天吊り投写	天井から逆さに吊り下げて、スクリーンの裏から投写するときを選びます。 上下が反転します。
天吊り投写	天井から逆さに吊り下げて投写するときを選びます。 上下左右が反転します。

メニュー表示時間を設定する

[ホーム画面] > [セットアップ] >
[詳細] > [メニュー表示時間]

オンスクリーンメニューは操作を行わないでいると自動的に消えます。

ここではオンスクリーンメニューを表示してから消えるまでの時間を設定します。

5 秒	メニュー表示後に操作が行われないと、設定した時間の経過でメニューが消えます。
10 秒	
15 秒	
20 秒	
25 秒	
30 秒	
3 分	

詳細メニュー

クローズドキャプションを有効にする

[ホーム画面] > [セットアップ] >
[詳細] >
[クローズドキャプション有効]

選択した入力信号にクローズドキャプションがある場合に画面上に表示します。

※クローズドキャプションとは、TV 番組や動画の会話、ナレーション、サウンド効果等が画面に文字情報で表示されるものです。(TV 番組表には通常「CC」と表記されます)。

オフ	クローズドキャプションを使用しません。
オン	クローズドキャプションがある場合に画面上に表示します。

クローズドキャプションのチャンネルを選択する

[ホーム画面] > [セットアップ] >
[詳細] >
[クローズドキャプションチャンネル]

クローズドキャプションのチャンネルを選択します。

CC1	チャンネル 1 ※その地域の第一言語はチャンネル 1 です。
CC2	チャンネル 2
CC3	チャンネル 3
CC4	チャンネル 4

詳細メニュー

購入時の状態に戻す

[ホーム画面] > [セットアップ] >
[詳細] > [工場出荷設定]

セットアップメニュー / オンスクリーンメニューで設定した内容を購入時（工場出荷時）の状態に戻します。



はい	工場出荷時の状態に戻します。
いいえ	工場出荷時の状態に戻しません。



- ・ [LED 時間]、[言語]、
[プロジェクターの投写位置]、
[高地対応モード] の内容は戻りません。
- ・ 工場出荷時の設定内容についてはP98を参照してください。

ビデオ設定メニュー

ビデオファイルの再生範囲を設定する

[ホーム画面] > [セットアップ] >
[ビデオ設定] > [再生モード]

ビデオファイルの再生において、再生対象とする範囲を設定します。

1つのビデオ	選択したビデオファイルのみを再生対象とします。
フォルダ内の全動画	選択したビデオファイルが存在するフォルダ内の全ビデオファイルを再生対象とします。

ビデオ設定メニュー

ビデオファイルの再生順序をランダムにする

[ホーム画面] > [セットアップ] >
[ビデオ設定] > [再生順序]

ビデオファイルの再生順序をファイル名順にするか、ランダムにするかを選択します。

ノーマル	ビデオファイルの再生順序をファイル名順にします。
シャッフル	ビデオファイルの再生順序をランダムにします。

ビデオファイルを繰り返し再生する

[ホーム画面] > [セットアップ] >
[ビデオ設定] > [リピート]

ビデオファイルの繰り返し再生の有効 / 無効を切り替えます。

オフ	ビデオファイルの繰り返し再生を行いません。
オン	ビデオファイルの繰り返し再生を行います。



- ・ [オン] に設定した場合、[再生モード] で選択した範囲のビデオファイルが繰り返し再生されます。

写真設定メニュー

スライドショーの速度を設定する

[ホーム画面] > [セットアップ] >
[写真設定] > [スライドショー速度]

[スライドショー モード] が
[フォルダ内の全画像] のときの、画像
の切り替え速度を設定します。

高速	高速で画像を切り替えます。
中速	標準のスピードで画像を切り替えます。
低速	ゆっくりと画像を切り替えます。

画像の切り替えを自動でおこなう

[ホーム画面] > [セットアップ] >
[写真設定] >
[スライドショー モード]

画像の切り替えを、リモコンを使用して手動で行うか、自動で行うかを設定します。

1 画像クリック	画像の切り替えを【◀】【▶】ボタンで行います。
フォルダ内の全画像	自動で画像切り替えを行います。

写真設定メニュー

画像の表示順序をランダムにする

[ホーム画面] > [セットアップ] >
[写真設定] > [スライドショー順序]

画像ファイルの表示順序をファイル名順にするか、ランダムにするかを選択します。

ノーマル	画像ファイルの表示順序をファイル名順にします。
シャッフル	画像ファイルの表示順序をランダムにします。

画像ファイルを繰り返し表示する

[ホーム画面] > [セットアップ] >
[写真設定] > [リピート]

画像ファイルの繰り返し表示の有効 / 無効を切り替えます。

オフ	画像ファイルの繰り返し表示を行いません。
オン	画像ファイルの繰り返し表示を行います。

音楽設定メニュー

音楽ファイルの再生範囲を設定する

[ホーム画面] > [セットアップ] >
[音楽設定] > [再生モード]

音楽ファイルの再生において、再生対象とする範囲を設定します。

1 曲の音楽	選択した音楽ファイルのみを再生対象とします。
フォルダ内の全音楽	選択した音楽ファイルが存在するフォルダ内の全音楽ファイルを再生対象とします。

音楽ファイルの再生順序をランダムにする

[ホーム画面] > [セットアップ] >
[音楽設定] > [再生順序]

音楽ファイルの再生順序をファイル名順にするか、ランダムにするかを選択します。

ノーマル	音楽ファイルの再生順序をファイル名順にします。
シャッフル	音楽ファイルの再生順序をランダムにします。

音楽設定メニュー

音楽ファイルを繰り返し再生する

[ホーム画面] > [セットアップ] >
[音楽設定] > [リピート]

音楽ファイルの繰り返し再生の有効 / 無効を切り替えます。

オフ	音楽ファイルの繰り返し再生を行いません。
オン	音楽ファイルの繰り返し再生を行います。



- ・ [オン] に設定した場合、
[再生モード] で選択した範囲の音楽ファイルが繰り返し再生されます。

情報メニュー

内部メモリの使用量を確認する

[ホーム画面] > [セットアップ] >
[情報] > [メモリ / 内部メモリ]

内部メモリの使用量と容量を表示します。

情報メニュー

SD カードの使用量と容量を確認する

[ホーム画面] > [セットアップ] >
[情報] > [メモリ / SD カード]

SD カードの使用量と容量を表示します。



- ・ SD カードが本機に挿入されていない場合には、空欄となります。

USB メモリの使用量と容量を確認する

[ホーム画面] > [セットアップ] >
[情報] > [メモリ / USB ドライブ]

USB メモリの使用量と容量を表示します。



- ・ USB メモリが本機に接続されていない場合には、空欄となります。

情報メニュー

LED 点灯時間を確認する

[ホーム画面] > [セットアップ] >
[情報] > [LED 時間]

本機の光源 LED の総点灯時間を表示します。

ファームウェアのバージョン番号を確認する

[ホーム画面] > [セットアップ] >
[情報] > [ファームウェアバージョン]

本機のファームウェアのバージョン番号を表示します。

言語メニュー

メニューの表示言語を選択する

[ホーム画面] > [セットアップ] >
[言語]

ホーム画面、セットアップメニュー、オンスクリーンメニューの表示言語を選択します。

英語	English
ドイツ語	Deutsch
フランス語	Français
イタリア語	Italiano
スペイン語	Español
ポルトガル語	Português
スウェーデン語	Svenska
ロシア語	Русский
オランダ語	Nederlands
フィンランド語	Suomi
ノルウェー語	Norsk
トルコ語	Türkçe
ポーランド語	Polski
ハンガリー語	Magyar
チェコ語	Čeština
デンマーク語	Dansk
中国語（簡体）	中文(简)
中国語（繁体）	中文(繁)
日本語	日本語

キーロック

スタンバイ時のキーロック

- ・ スタンバイ時に不用意に電源が入られることのないように、スタンバイ時の操作パネルおよびリモコンのボタン操作を無効にすることができます。
- ・ セットアップメニューからキーロック機能のオン / オフを設定します。
- ・ キーロックがオンのとき、本機の電源を入れるには、STATUS LED が短時間点灯するまで、操作パネルの **INPUT** ボタンまたはリモコンの **AUTO PC** ボタンを押し続けるとキーロックが解除されます。(※ 1)

その後、操作パネルまたはリモコンの POWER ボタンを押すと電源が入ります。

※ 1: キーロックは解除されますが、メニュー内のキーロック機能のオン / オフは変更されません。そのまま電源を切ると、次回起動時にもキーロック解除の操作が必要となります。

投写中のキーロック

- ・ 投写中に不用意に操作パネルおよびリモコンのボタン操作が行なわれない様に操作パネルおよびリモコンのボタン操作を無効にすることができます。
- ・ 操作パネルの **INPUT** ボタンまたはリモコンの **AUTO PC** ボタンを 3 秒間長押しすると、キーロックの有効 / 無効を切り替えることができます。

オンスクリーンメニューの操作

オンスクリーンメニューでは投写映像の画質や色の調節を行うことができます。

メニューの操作

1. オンスクリーンメニューを開くには、入力信号またはファイルが表示されているときにリモコンの **MENU** ボタン を押します。
入力信号またはファイルが表示されていないときは、**MENU** ボタンを押しても、オンスクリーンメニューは表示されません。
2. オンスクリーンメニューが表示されているときに **【▲】【▼】【◀】【▶】** ボタンと **OK** ボタンで各種設定を行います。
3. オンスクリーンメニューを終了するには、**MENU** ボタン または **BACK** ボタン を押します。

メニュー	
イメージ調整	プレゼンテーション
アスペクト	オート
スクリーン色補正	ノーマル
位相	<input type="range"/> 15
水平サイズ	<input type="range"/> 0
3D逆転	オフ
キーストーン	<input type="range"/> 0
LEDモード	ノーマル
HDMI入力レベル	オート
セットアップ	
情報	PC/コンポーネント 1024×768 60Hz

イメージ調整

イメージモードを選択する

[MENU] > [イメージ調整] >
[イメージモード]

投写する映像に適した画質を選択できません。

プレゼンテーション	文字を中心とした映像に適しています。
スタンダード	コンピューター画面や映像ソフト(動画)の鑑賞などに適しています。
sRGB	sRGB 対応デジタルカメラの画像などを投写する場合に適しています。sRGB 規格に対応しています。
ムービー	映像ソフト(動画)を鑑賞するのに適しています。
ユーザー	ユーザーが調整した画質の設定を保存することができます。保存した設定は、イメージモードとして選択できます。

OK ボタンを押して確定し、MENU ボタンまたは BACK ボタンを押します。



- 工場出荷時は「スタンダード」です。
- 「ユーザー」以外のイメージモードでは、明るさ、コントラスト等の画質調整はできません。

お好みの画質に調整する

[MENU] > [イメージ調整] >
[イメージモード] > [ユーザー]

イメージモードで「ユーザー」を選択しているときには、画質の調整を行うことができます。

調整した画質は保存しておくことができます。

[イメージモード]で[ユーザー]を選択します。

[参照モード]で基準としたいイメージモードを選択します。



[明るさ]、「コントラスト」、「色の濃さ」、「色合い」、「シャープネス」、「色温度」を【◀】【▶】ボタンで調整します。(P74 ~ P75)

[設定の保存]を選択し[OK]を選択して、調整値を保存します。



- 画質を調整した後は必ず[設定の保存]を行ってください。[設定の保存]を行っていない状態で他のイメージモードを選択すると、調整値はリセットされてしまいます。

イメージ調整

明るさの調整

[MENU] > [イメージ調整] >
[明るさ]

映像の明るさが調整できます。

[▶]	映像が明るくなります。
[◀]	映像が暗くなります。



すべての画質を調整した後に必ず
[設定の保存] を行ってください。
[設定の保存] を行っていない状態で他のイメージモードを選択すると、調整値はリセットされてしまいます。

コントラストの調整

[MENU] > [イメージ調整] >
[コントラスト]

映像のコントラストが調整できます。

[▶]	コントラストを上げます。映像の暗い部分と明るい部分の差がはっきりします。
[◀]	コントラストを下げます。映像が淡くなります。



すべての画質を調整した後に必ず
[設定の保存] を行ってください。
[設定の保存] を行っていない状態で他のイメージモードを選択すると、調整値はリセットされてしまいます。

色の濃さの調整

[MENU] > [イメージ調整] >
[色の濃さ]

色の濃さを調整できます。

[▶]	色が濃くなります。
[◀]	色が淡くなります。



• [**ビデオ**] 信号入力の際に調整できません。
• すべての画質を調整した後に必ず
[設定の保存] を行ってください。
[設定の保存] を行っていない状態で他のイメージモードを選択すると、調整値はリセットされてしまいます。

色合いの調整

[MENU] > [イメージ調整] >
[色合い]

紫がかった映像、緑がかった映像の色合いを調整できます。

[▶]	緑がかった映像が補正されます。
[◀]	紫がかった映像が補正されます。



• [**ビデオ**] 信号入力の際に調整できません。
• すべての画質を調整した後に必ず
[設定の保存] を行ってください。
[設定の保存] を行っていない状態で他のイメージモードを選択すると、調整値はリセットされてしまいます。

イメージ調整

シャープネスの調整

[MENU] > [イメージ調整] >
[シャープネス]

映像の鮮明度を調整できます。

[▶]	映像が鮮明になります。
[◀]	映像がぼやけます。



- ・ [ビデオ] 信号入力の時に調整できません。
- ・ すべての画質を調整した後に必ず [設定の保存] を行ってください。 [設定の保存] を行っていない状態で他のイメージモードを選択すると、調整値はリセットされてしまいます。

色温度の調整

[MENU] > [イメージ調整] >
[色温度]

色味を調整できます。

高	青味がかかった色になります。 (寒色系)
中	標準的な色になります。
低	赤味がかかった色になります。 (暖色系)



- ・ すべての画質を調整した後に必ず [設定の保存] を行ってください。 [設定の保存] を行っていない状態で他のイメージモードを選択すると、調整値はリセットされてしまいます。

お好みの画質を保存する

[MENU] > [イメージ調整] >
[設定の保存]

イメージモードで「ユーザー」で [明るさ]、[コントラスト]、[色の濃さ]、[色合い]、[シャープネス]、[色温度] の調整を行った画質を保存することができます。

保存した設定はイメージモードとして選択できます。



- ・ [工場出荷設定] を行うと、保存した設定値は初期値に戻ります。
- ・ すべての画質を調整した後に必ず [設定の保存] を行ってください。 [設定の保存] を行っていない状態で他のイメージモードを選択すると、調整値はリセットされてしまいます。

アスペクト

映像の縦横比を選択する

[MENU] > [アスペクト]

映像の縦横比に合わせてアスペクトを調整します。

オート	入力信号の縦横比のまま投写します。一般的な投写の時はこのモードを選択してください。
フルスクリーン	入力信号の縦横比と関係なく画面いっぱいに投写します。
4:3	4:3の縦横比で投写します。4:3の映像が[オート]で正しく表示できないときに選択してください。
16:9	16:9の縦横比で投写します。16:9の映像が[オート]で正しく表示できないときに選択してください。
16:10	16:10の縦横比で投写します。縦横比が16:10のコンピュータ画面を投写するときに選択してください。
リアル	入力信号が1280×800の解像度より小さいときに、解像度に比例して映像を小さく投写します。コンピュータ画面とほぼ同じ解像度で投写したいときに選択してください。

OK ボタンで[アスペクト]を選択し、【▲】【▼】ボタンで内容を選び、**OK** ボタンを押して確定します。

MENU ボタンまたは**BACK** ボタンを押します。



- ・工場出荷時は「オート」です。
- ・「PC/コンポーネント」、「HDMI」、「ビデオ」入力以外では[アスペクト]を調整することができません。

スクリーン色補正

色のついた壁などに投写する

[MENU] > [スクリーン色補正]

投写するスクリーンの色に応じて、投写する映像の色味を調整できます。

ノーマル	標準的なスクリーンのときに選択します。自然光に近い色味で投写します。
薄い黄色	薄い黄色の壁などをスクリーンにするときに選択します。
ピンク	ピンクの壁などをスクリーンにするときに選択します。
薄い緑色	薄い緑色の壁などをスクリーンにするときに選択します。
青	青色の壁などをスクリーンにするときに選択します。
黒板	黒板(濃緑色)をスクリーンにするときに選択します。黒板上でも[ノーマル]に近い色味になります。

OK ボタンで[スクリーン色補正]を選択し、【▲】【▼】ボタンで内容を選び、**OK** ボタンを押して確定します。

MENU ボタンまたは**BACK** ボタンを押します。



- ・工場出荷時は「ノーマル」です。
- ・コンピュータと接続した場合に調整できます。

位相

入力信号の同期を調整する (アナログ PC)

[MENU] > [位相]

映像信号から画面を構成するタイミングを微調整します。

画面がずれたり、ちらつくときに調整します。

【◀】【▶】ボタンで数値を調整します。

調整が終わったら **MENU** ボタンまたは **BACK** ボタンを押します。



- ・ アナログ PC 入力時のみ調整できません。
- ・ [AUTO PC] (P17) を行っても映像が正しく表示されない場合に調整します。

水平サイズ

入力信号の表示幅を調整する (アナログ PC)

[MENU] > [水平サイズ]

画面が左右に広いまたは狭いときに、水平方向のサイズを調整します。

【◀】【▶】ボタンで数値を調整します。

調整が終わったら **MENU** ボタンまたは **BACK** ボタンを押します。



- ・ アナログ PC 入力時のみ調整できます。
- ・ [AUTO PC] (P17) を行っても映像が正しく表示されない場合に調整します。

3D 逆転

3D 映像が見づらい場合に使用する

[MENU] > [3D 逆転]

3D 映像が見づらい場合に使用します。
左右の映像の表示順を変更します。

オン	左右の映像の表示順を変更します。
オフ	左右の映像の表示順を変更しません。

OK ボタンで [3D 逆転] を選択し、【▲】
【▼】 ボタンで内容を選び、**OK** ボタンを
押して確定します。

MENU ボタンまたは **BACK** ボタンを押
します。



- ・ 3D 映像信号を投写しているときのみ調整できます。
- ・ 詳しくは、81 ページの「3D コンテ
ンツを見る」をご覧ください。

キーストーン

台形ひずみを調整する

[MENU] > [キーストーン]

台形ひずみの補正ができます。

オートキーストーン補正で補正しきれない
ときに調整をします。

【◀】【▶】 ボタンで数値を調整します。

調整が終わったら **MENU** ボタンまたは
BACK ボタンを押します。



- ・ 補正量は最大で± 40° です。※ 1
- ・ キーストーン調整を行うと、次回起動
時までオートキーストーン機能は働か
なくなります。ただし、
[オートキーストーン] を一度
[オフ] にしてから再度 [オン] にする
と、オートキーストーン機能が有効に
なります。

※ 1 3D タイミングの入力信号を表示して
いる時には約± 4° となります。

LED モード

LED の光量を変える

[MENU] > [LED モード]

LED 光源の明るさを切り替えることができます。

LED モードを変更することによって消費電力と騒音を抑えることができます。

ノーマル	標準の明るさで投写します。
エコ	LED 光源の光量を落とし、消費電力を落とし、冷却ファンの騒音を抑えます。

OK ボタンで [LED モード] を選択し、【▲】【▼】ボタンで内容を選び、OK ボタンを押して確定します。

MENU ボタンまたは BACK ボタンを押します。



- ・ 工場出荷時は [ノーマル] です。
- ・ 電源を切っても設定値は保存されます。

HDMI 入力レベル

[MENU] > [HDMI 入力レベル]

映像ソフトを HDMI 信号で投写するときに、必要に応じて選択します。

オート	信号レベルを自動的に選びます。 ビデオ機器によっては対応しないことがあります。
フル	ビデオ機器の HDMI 出力が「拡張」に設定してあるときに選択します。 「拡張」の名称はビデオ機器によって異なります。
リミテッド	ビデオ機器の HDMI 出力が「リミテッド」に設定してあるときに選択します。 「リミテッド」の名称はビデオ機器によって異なります。

OK ボタンで [HDMI 入力レベル] を選択し、【▲】【▼】ボタンで内容を選び、OK ボタンを押して確定します。

MENU ボタンまたは BACK ボタンを押します。

セットアップ

[MENU] > [セットアップ]

オンスクリーンメニューから、ホーム画面の [**セットアップ**] の画面に移動することができます。

OK ボタンを押すと、ホーム画面の [**セットアップ**] が表示されます。



- ・ **BACK** ボタンでは、選択していた入力に戻ることはできません。

情報

[MENU] > [情報]

現在選択されている入力と解像度などの情報が表示されます。

3D コンテンツを見る

このプロジェクターは、DLP Link 方式の 3D コンテンツ表示に対応していません。

本機が対応できる 3D 映像信号入力は、フレームシーケンシャル方式のみです。フレームパッキング方式やサイドバイサイド方式など、その他の方式には対応していません。

本機で 3D 映像を投写・視聴するには、以下の機器等を準備する必要があります。

- ・ 3D 専用コンテンツを再生できる機器

※例えば、コンピューターでは 3D 映像を 120Hz でフレームシーケンシャルに出力するグラフィックボードやソフトウェアが必要です。

- ・ 3D 専用のコンテンツ
- ・ DLP-Link 方式のアクティブシャッター方式の 3D メガネ

※すべての 3D メガネの動作保証はしていません。

対応する 3D 信号 (120Hz)

SVGA (800 x 600) 、XGA (1024 x 768, Reduce Blanking) 、
WXGA (1280 x 800, Reduce Blanking)

3D コンテンツを見る手順：

1. コンピューター ケーブルまたは HDMI ケーブルで本機とコンピューターをつなぎます。
※プロジェクターとコンピューターを接続するとき、プロジェクターにのみ出力するようにコンピューターの出力信号を切り換えます (デュアルモードは使用しないでください)。
2. 本機と接続したコンピューターから、120Hz のフレームシーケンシャル信号を出力します。
3. DLP-Link 方式の 3D メガネの電源を入れ、3D メガネを着用して鑑賞します。
4. 立体に見えない場合は、オンスクリーンメニューの「3D 逆転」の設定を変更してください。

- ◆ 周辺の照明が明るいと 3D 映像が見えづらくなることがあります。また、蛍光灯 (50Hz) をご使用の部屋で 3D メガネを使用すると、明かりがちらついて見えることがあります。このようなときは、蛍光灯を暗くしたり、消したりしてください。
- ・ 3D コンテンツを見ているときに、イメージモードを変更することはできません。キーストーンは $\pm 4^\circ$ の範囲でしか調整できません。
- ・ グラフィックボード、メモリ、CPU など、コンピューターの性能によっては 3D コンテンツを見られない場合があります。

 注意 3D 映像の視聴についてのご注意

- 光過敏の既往症のある人、心臓に疾患がある人、妊娠中の女性、高齢者、重い病気にかかっている方、てんかんの発作が起きやすい方は、3D 映像の視聴を控えてください。
病状悪化の原因となることがあります。
- 体調不良や、疲れた状態での 3D 視聴を控えてください。
他に、睡眠不足の場合、酒気を帯びている場合も、3D 映像の視聴を控えてください。
- 以下のような症状が出た場合は、すぐに 3D 視聴を中止し、症状が軽減されるまで休憩してください。
 - ・ 3D 映像を見ている時に、映像が二重に見えたときや、立体感を感じにくいとき。
 - ・ 3D 映像を見ている時に、疲労感や不快感などの体調変化を感じたら、使用を中止してください。
 - ・ 回転・横揺れ・縦揺れを伴う 3D 映像コンテンツを觀賞すると、自分が動いているような感覚から生じる不快感「映像酔い」が増長されることがあります。
- 長時間の使用は、目の疲れの原因になることがありますので、適度に休憩をとってください。
長時間の使用や映像を斜めから見ると、眼精疲労などを引き起こす要因となります。
- お子様の 3D 視聴には保護者様が付き添ってください。
お子様は、3D 視聴による不快感が生じても、適切に伝えられないことがあるので、保護者様が付き添ってご使用ください。
3D 映像の視聴年齢については、およそ 6 歳以上を目安にしてください。
- 3D 映像を見る際は、画面正面の適正な距離でご覧ください。
3D 映像を見る際は、画面正面のなるべく適正な距離（画面縦寸法の約 3 倍以上が目安）から、（表示面の水平と両目の水平が近い状態で）ご覧ください。
- 映像ソースによって逆視が起こり得ます。
立体感を感じる様、設定を確認した上で、ご使用ください。
逆視とは、左目用と右目用の映像が入れ替わる事で、立体感が感じにくくなり、視覚疲労や不快感の原因となることがあります。

付録

LED インジケータの表示

LED インジケータはプロジェクターの動作状態を表示します。

動作状態	LED インジケータ	
	STATUS	POWER
スタンバイ	消灯	赤で点灯
ウォームアップ	消灯	青で点滅
投写中	消灯	青で点灯
キーロック された状態でボタン操作を行う (キーロック 解除のボタン操作を除く)	赤で 3 秒間点灯	スタンバイ：赤で点灯 投写中：青で点灯
キーロック の有効 / 無効を切り替える	赤で 0.5 秒間点灯	スタンバイ：赤で点灯 投写中：青で点灯
異常温度	赤で 1 回点滅	消灯
ファンの異常	赤で 4 回点滅	消灯

故障かなと思ったら

電源が入らない

原因	対処のしかた
電源コードが正しく接続されていません。	電源コードがきちんと接続されていることを確認してください。(P22)
電源コードを接続した直後である。	電源プラグを接続して POWER ボタンが赤く点灯するまでは、電源を入れることができません。(P22)
内部異常が発生している。	STATUS LED が点滅していませんか？ 点滅している場合は、温度異常またはファン異常が発生しています (P84)。 温度異常の場合は、排気口が塞がれていたり、高温環境で使用していないことを確認してください。 ファン異常の場合は、キヤノンお客様相談センターにご連絡ください
キーロックが設定されている。	POWER ボタンを押したときに、STATUS LED が点灯しませんか？ 点灯する場合はキーロックが設定されています。 操作パネルの INPUT ボタンまたはリモコンの AUTO PC ボタンを長押しして、キーロックを解除してから電源を入れてください (P16、P17、P71)。

映像が投写されない

原因	対処のしかた
接続ケーブルが正しく接続されていない	コンピューターやビデオ機器とプロジェクターとが正しく接続されていることを確認してください。
ビデオ機器から映像が送られていない	接続しているビデオ機器で、映像の再生が行われていることを確認してください。
投写する入力信号が選ばれていない	INPUT ボタンまたはリモコンの入力選択ボタンを押して、投写する入力信号を選んでください。(P16、P17)
映像信号の形式が合っていない	ソース機器側の出力が本機の対応信号になっていることを確認してください。(P91～P93)
BLANK になっている	リモコンの BLANK ボタンを押してください。(P17)
ノート型コンピューター側の外部モニターへの出力が正しく設定されていない	ノート型コンピューターの外部モニターへの出力をオンに設定してください。外部モニターへの出力をオンにするには、コンピューターのキーボードの [Fn] を押しながら、[LCD] や [VGA] または画面のアイコンが表記されたファンクションキーを押します。(P31) なお、キー操作はノート型コンピューターの種類によって異なります。詳しくは、ご使用のノート型コンピューターの使用説明書などを確認してください。
レンズカバーが開いていない	レンズカバーを開いてください。(P23)

音声がでない

原因	対処のしかた
音声ケーブルが正しく接続されていない	音声ケーブルの接続を確認してください。
MUTE になっている	リモコンの MUTE ボタンを押してください。(P17)
音量が小さくなっている。	リモコンの VOL+ ボタンを押して音量を調整してください。(P17)
抵抗内蔵の音声ケーブルが使用されている	音声ケーブルは、抵抗なしのものを使用してください。
映像が表示されていない	PC/ コンポーネント、HDMI、ビデオの時には入力信号が投写されていないと音声が出されません

映像が鮮明でない

原因	対処のしかた
ピントが合っていない	フォーカスリングでピントを合わせてください。(P23)
スクリーンまでの距離が近すぎる	スクリーンとの距離が適正であるか確認してください。 約 0.5m 以上離れないと、ピントが合いません。(P28)
プロジェクターがスクリーンの正面に置かれていない	スクリーンに対して過度に斜め方向から投写していないか確認してください。
温度差の激しい場所に移動した	温度の低い場所から温度の高い場所に移動した場合、レンズにくもりが発生する場合があります。 しばらくすると、くもりは消え、正常な画面の投写が可能になります。
レンズが汚れている	レンズを清掃してください。(P90)

映像が正しく表示されない

原因	対処のしかた
アナログ PC 入力の場合に、映像が左右にずれている。またはちらついている。	AUTO PC を行ってください。
映像が上下、または左右逆に投写される	天吊り / リア投写の設定に誤りがあります。 セットアップ > 詳細 > プロジェクターの投写位置 の設定内容を確認してください。 (P60)
一部のピンが結線されていないコンピューターケーブルを使用している	同梱のコンピューターケーブルを使用してください。 市販品の場合は、全てのピンが結線されたコンピューターケーブルを使用してください。

電源が切れてしまう

原因	対処のしかた
吸気口または排気口がふさがれている	吸気口または排気口がふさがれていると、プロジェクター内部の温度が上昇し、本体保護のために自動的に電源が切れるようになっていきます。(P16) プロジェクターの温度が下がってから、吸気口または排気口をふさがないようにして、再度電源を入れてください。
使用環境が適正でない。	使用環境が 0° C ~ 40° C であることを確認してください。(P12) 海拔 1500m ~ 3000m の高地で使用する場合は、高地対応モード設定してください。(P59)
上記に該当する原因が見つからないとき	故障している可能性がありますので、電源コードを抜き、すみやかにキヤノンお客様相談センターまでご相談ください。(裏表紙)

リモコンの操作ができない

原因	対処のしかた
電池が正しく入っていない / 電池が切れている	電池が正しく入っているか確認してください。 電池が入っている場合は、新しい電池と交換してください。(P18)
リモコンの届かない位置から操作している	プロジェクターのリモコン受光範囲内で操作しているか確認してください。(P18)
リモコンとプロジェクターの間に障害物がある	プロジェクターのリモコン受光部とリモコンの間の障害物を取り除くか、障害物のない位置でリモコンを操作してください。
リモコンの使用環境が適正でない	プロジェクターのリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっていないか確認してください。(P18)
キーロックでリモコンの操作を禁止している	POWER ボタンを押したときに、 STATUS LED が点灯しませんか？ 点灯する場合はキーロックが設定されています。 操作パネルの INPUT ボタンまたはリモコンの AUTO PC ボタンを長押しして、キーロックを解除してください(P71)。

お手入れについて

レンズのお手入れ

表面に汚れやほこりが付いていたら、レンズのお手入れが必要です。

- ・ レンズの清掃には、カメラ用に市販されているブローブラシ、またはレンズクリーニングクロスをご使用ください。
- ・ レンズのお手入れを開始する前に、電源ケーブルを外してプロジェクターを完全に冷却してください。
- ・ ワックス、アルコール、ベンジン、シンナー、その他の化学洗剤は使用しないでください。

プロジェクターのお手入れ

お手入れを行う前に、[26 ページの「電源を切る」](#)に説明されている手順でプロジェクターの電源を切り、電源コードを抜いてください。

- ・ ほこりや汚れを取り除くには、柔らかい、けば立ちのない布で拭きます。
- ・ 落ちにくい汚れやしみを取り除くには、水で薄めた中性洗剤で布を湿らせて、ケースを拭きます。
- ・ ワックス、アルコール、ベンジン、シンナー、その他の化学洗剤は使用しないでください。こうした薬剤を使用すると、ケースを傷める場合があります。
- ・ 本機の天板の表面をこすったり磨いたりしないでください。表面が傷つく場合があります。



注意

対応信号

アナログ PC 入力

解像度	モード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
640 x 480	VGA	31.469	59.940
	VGA	37.861	72.809
	VGA	37.500	75.000
	VGA	43.269	85.008
720 x 400	-	31.469	70.087
800 x 600	SVGA	37.879	60.317
	SVGA	48.077	72.188
	SVGA	46.875	75.000
	SVGA	53.674	85.061
	SVGA ※	77.425	119.854
1024 x 768	XGA	48.363	60.004
	XGA	56.476	70.069
	XGA	60.023	75.029
	XGA	68.667	84.997
	XGA ※	97.551	119.989
1152 x 864	-	67.500	75.00
1024 x 576	-	35.820	60.00
1024 x 600	-	41.467	64.995
1280 x 720	-	45.000	60
1280 x 768	WXGA	47.776	59.870
1280 x 800	WXGA	49.702	59.810
	WXGA	62.795	74.934
	WXGA	71.554	84.880
	WXGA ※	101.563	119.909
1280 x 1024	SXGA	63.981	60.020
	SXGA	79.976	75.025
1280 x 960	-	60.000	60.000
	-	85.938	85.002
1366 x 768	-	47.712	59.790
1440 x 900	WXGA+	55.935	59.887
1400 x 1050	SXGA+	65.317	59.978
1680 x 1050	WSXGA+	65.290	59.954
640 x 480@67Hz	MAC13	35.000	66.667
832 x 624@75Hz	MAC16	49.722	74.546
1024 x 768@75Hz	MAC19	60.241	75.020
1152 x 870@75Hz	MAC21	68.68	75.06

◆ ※フレーム シーケンシャル形式の 3D 信号に対応するタイミング

HDMI 入力 (デジタル PC)

解像度	モード	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
640 x 480	VGA	31.469	59.940
	VGA	37.861	72.809
	VGA	37.500	75.000
	VGA	43.269	85.008
720 x 400	-	31.469	70.087
800 x 600	SVGA	37.879	60.317
	SVGA	48.077	72.188
	SVGA	46.875	75.000
	SVGA	53.674	85.061
	SVGA ※	77.425	119.854
1024 x 768	XGA	48.363	60.004
	XGA	56.476	70.069
	XGA	60.023	75.029
	XGA	68.667	84.997
	XGA ※	97.551	119.989
1152 x 864	-	67.500	75.00
1024 x 576	-	35.820	60.00
1024 x 600	-	41.467	64.995
1280 x 720	-	45.000	60
1280 x 768	WXGA	47.776	59.870
1280 x 800	WXGA	49.702	59.810
	WXGA	62.795	74.934
	WXGA	71.554	84.880
	WXGA ※	101.563	119.909
1280 x 1024	SXGA	63.981	60.020
	SXGA	79.976	75.025
1280 x 960	-	60.000	60.000
	-	85.938	85.002
1366 x 768	-	47.712	59.790
1440 x 900	WXGA+	55.935	59.887
1400 x 1050	SXGA+	65.317	59.978
1680 x 1050	WSXGA+	65.290	59.954
640 x 480	MAC13	35.000	66.667
832 x 624	MAC16	49.722	74.546
1024 x 768	MAC19	60.241	75.020
1152 x 870	MAC21	68.68	75.06

◆ ※フレーム シーケンシャル形式の 3D 信号に対応するタイミング

HDMI入力 (デジタルビデオ)

信号形式	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
480i	15.73	59.94
480p	31.47	59.94
576i	15.63	50
576p	31.25	50
720/50p	37.5	50
720/60p	45.00	60
1080/24P	27	24
1080/25P	28.13	25
1080/30P	33.75	30
1080/50i	28.13	50
1080/60i	33.75	60
1080/50P	56.25	50
1080/60P	67.5	60

コンポーネントビデオ入力

信号形式	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
480i	15.73	59.94
480p	31.47	59.94
576i	15.63	50
576p	31.25	50
720/50p	37.5	50
720/60p	45.00	60
1080/50i	28.13	50
1080/60i	33.75	60
1080/24P	27	24
1080/25P	28.13	25
1080/30P	33.75	30
1080/50P	56.25	50
1080/60P	67.5	60

ビデオ入力

信号形式	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
NTSC	15.73	60
PAL	15.63	50
SECAM	15.63	50
PAL-M	15.73	60
PAL-N	15.63	50
PAL-60	15.73	60
NTSC4.43	15.73	60

製品の仕様

◆ 仕様はすべて予告なく変更されることがあります。

型名		LE-5W
方式		1-チップ DLP 方式
表示素子	形式	DMD × 1
	サイズ / アスペクト比	0.45 型 / 16 : 10
	解像度	WXGA 相当
投写レンズ	ズーム	固定
	焦点距離 / F 値	11.7 mm / F1.65
光源		LED (R、G、B)
映像サイズ		20" (0.5 m) – 240" (6.1 m)
再現色数		約 10 億 7374 万色
明るさ		500 ルーメン (プレゼンテーション時)
コントラスト比		3000:1 (全白 : 全黒、プレゼンテーション時)
周辺照度比		85% (プレゼンテーション時)
スピーカー		2.5 ワット × 2
最大入力解像度		1920 x 1080
映像信号	デジタルビデオ	1080p / 1080i / 720p / 576p / 480p / 576i / 480i
	デジタル PC	WSXGA+ / WXGA+ / SXGA+ / WXGA / SXGA / XGA / VGA / MAC
	アナログ PC	WSXGA+ / WXGA+ / SXGA+ / WXGA / SXGA / XGA / VGA / MAC
	コンポーネントビデオ	1080p / 1080i / 720p / 576p / 480p / 576i / 480i
	ビデオ	NTSC / NTSC4.43 / PAL / PAL-M / PAL-N / SECAM / PAL60
入力端子	PC	アナログ PC / コンポーネント
	HDMI	デジタル PC / デジタルビデオ
	VIDEO	ビデオ
	AUDIO IN	(φ3.5 mm) 音声入力
	USB タイプ A	ビデオ / 写真 / 音楽 / ドキュメント対応
	USB タイプ B	USB ディスプレイおよび USB ファイル転送
	SD カードスロット	ビデオ / 写真 / 音楽 / ドキュメント
音声出力端子	AUDIO OUT	(φ3.5 mm) 音声出力
内部メモリ		1.5GB

外形寸法	248 mm (幅) x 54.9 mm (高さ) x 193 mm (奥行) (突起部含む) 248 mm (幅) x 49.4 mm (高さ) x 193 mm (奥行) (突起部含まず)
質量	1.6 kg
電源	AC100-240V、50-60 Hz
消費電力 / 待機電力	130W / 0.5 W
動作温度範囲	0° C ~ 40° C 0° C ~ 30° C (海拔 1500 ~ 3000m)
動作相対湿度	10% - 90% (結露なきこと)

リモコン

外形寸法	86.3 mm x 40.2 mm x 6.2 mm
質量	16.4 g
電池形式	CR2025

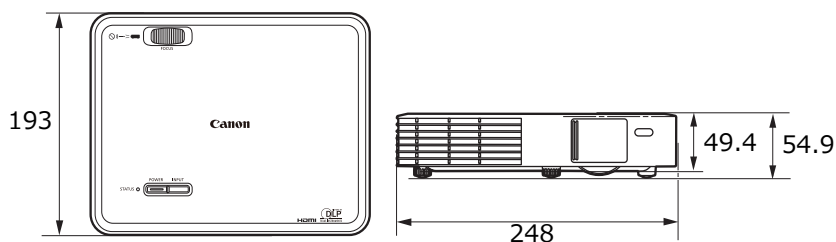
◆ ※出荷時における本プロジェクター全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911: 2003 データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については付属書 2 に基づいています。

※長時間連続使用する際は、光学部品の劣化を早めることがありますのでご注意ください。

※本プロジェクターは JIS C 61000-3-2 適合品です。

外形寸法

- ・ 248 mm (幅) x 54.9 mm (高さ) x 193 mm (奥行) (突起部含む)
- ・ 248 mm (幅) x 49.4 mm (高さ) x 193 mm (奥行) (突起部含まず)



単位 : mm

保証と著作権について

保証とアフターサービス

■この商品には保証書がついています

保証書は、本機に付属しています。お買い上げ日、販売店名などが記入されていることをお確かめの上、内容をお読みいただき、大切に保管してください。

なお、保証内容については保証書に記載しております。

■修理サービスのご相談

修理サービスのご相談は、裏表紙のキヤノンお客様相談センターにご相談ください。

■修理を依頼される前に

85 ページの「故障かなと思ったら」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

■修理方法

本商品は、引取修理させていただきます。

お客様先にプロジェクターを引取にお伺いし、修理完了後にお届けいたします。

〈修理料金〉

保証期間内	引取修理サービス	無償
保証期間終了後	引取修理サービス	有償

※上記、引取サービスは、キヤノンお客様相談センターにてサービスをご利用いただいた場合に適用されます。

※引取修理サービスは、国内のみのお取り扱いとなります。

■修理を依頼されるときにご連絡いただきたいこと

- ・ お客様のお名前
- ・ ご住所、お電話番号
- ・ 商品の機種名およびシリアル番号
- ・ 故障の内容（できるだけ詳しく）

■補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後5年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

著作権についてのご注意

本機を営利目的または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ切り換え機能等を利用して画面の圧縮、引き伸ばし等を行いますと、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

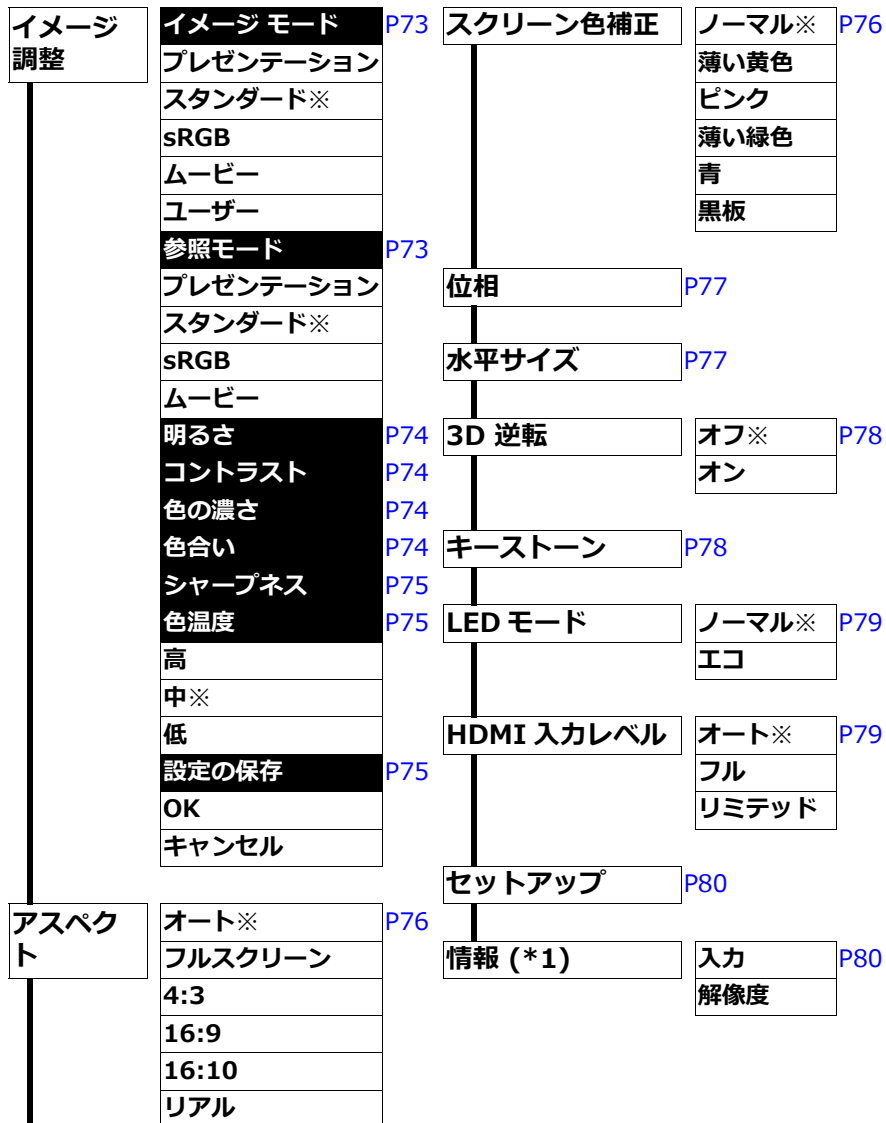
商標について

- ・ DLP、Digital Micromirror Device、および DMD は、Texas Instruments の商標です。
- ・ Microsoft、Windows、Windows XP、Windows Vista、Windows 7 は、米国 Microsoft Corporation の米国および、その他の国における登録商標または、商標、商品名です。
- ・ Mac、Mac OS、および Macintosh は米国その他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- ・ HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- ・ その他の会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

別売品

- | |
|-------------------|
| ・ リモコン 品番：LE-RC01 |
|-------------------|

オンスクリーンメニューの構成



※は工場出荷時（リセット後）の設定です。

*1 は表示のみで選択はできません。

セットアップメニューの構成

基本		詳細	
	キーロック	P56	高地対応モード
	オフ※		オフ※
	オン		オン
	オートキーストーン	P56	プロジェクターの投写位置
	オフ		前面投写※
	オン※		リア投写
	ダイレクトパワーオン	P57	リア・天吊り投写
	オフ※		天吊り投写
	オン		メニュー表示時間
	オートパワーオフ	P57	5 秒
	無効		10 秒
	5 分		15 秒
	10 分		20 秒
	15 分※		25 秒
	20 分		30 秒※
	25 分		3 分
	30 分		クローズドキャプション有効
	背景色	P58	オフ※
	黒※		オン
	青		クローズドキャプションチャンネル
	ブランクカラー	P58	CC1 ※
	黒※		CC2
	青		CC3
	スプラッシュ スクリーン	P59	CC4
	ロゴ※		ファームウェアアップデート
	黒		はい
	青		いいえ
			工場出荷設定
			はい
			いいえ

**ビデオ
設定**

再生モード	P62
フォルダ内の全動画 ※	
1つのビデオ	
再生順序	P63
ノーマル※	
シャッフル	
リピート	P63
オフ※	
オン	

**音楽
設定**

再生モード	P66
フォルダ内の全音楽※	
1曲の音楽	
再生順序	P66
ノーマル※	
シャッフル	
リピート	P67
オフ※	
オン	

**写真設
定**

スライドショー速度	P64
高速	
中速※	
低速	
スライドショーモード	P64
フォルダ内の全画像	
1画像クリック※	
スライドショー順序	P65
ノーマル※	
シャッフル	
リピート	P65
オフ※	
オン	

**情報
(*1)**

メモリ / 内部メモリ	P67
メモリ / SDカード	P68
メモリ / USBドライブ	P68
LED 時間	P69
ファームウェアバージョン	P69

言語 P70

英語※	ノルウェー語
ドイツ語	トルコ語
フランス語	ポーランド語
イタリア語	ハンガリー語
スペイン語	チェコ語
ポルトガル語	デンマーク語
スウェーデン語	中国語 (簡体)
ロシア語	中国語 (繁体)
オランダ語	日本語
フィンランド語	

※は工場出荷時 (リセット後) の設定です。

*1 は表示のみで選択はできません。

●長年ご使用のプロジェクターの点検をぜひ！（熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような
症状は
ありませんか

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 映像が時々消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。
- その他異常や故障がある。



ご使用
中止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

お客様メモ

品番

お買い上げ年月日

年

月

日

お買い上げ店名



Canon

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90071

[受付時間] 〈平日〉9:00～12:00 / 13:00～17:00

（土日祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9348をご利用ください。

※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。

※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。